北海道大学東京同窓会会報 フロンティア

FRONTIER

No.55
2019/8/20

Contents

・東京同窓会 総会 ・新社会人歓迎「北大東京ジンパ2019」
・北大の今を知る「創成研究機構＆産学・地域協働推進機構」
・職場奮戦記／東京2020組織委員会・スペシャルオリンピックス・企業版ふるさと納税
・グローバル同窓生／札幌、東京、そしてアマーストへ（後編）・グローバルについて思う
・北大ホッケー部OBOG会 ・第61回北大祭2019

FRONTIER
北海道大学東京同窓会会報 フロンティア

目 次

表紙の写真 今年はついに1000人超えの1129名が集結「北大東京ジンパ 2019」

令和元年度 東京同窓会 総会 広報委員会 4
会長・副会長・理事・監事／年間スケジュール／委員会役員／評議員／規約 6
風景との対話 「フランス風景 雑感」 初谷長治 13
新社会人歓迎「北大東京ジンパ2019」 上満研吾 14
北海道大学校友会エルム 活動の様子 北海道大学校友会エルム事務局 18
第4回定時総会 ／新会長挨拶／「100円朝食始めました！」 20
北大みらい投資プログラム 広報委員会 22
北大の今を知る「創成研究機構&産学・地域協働推進機構」 山本靖典 24
エルム談話室 平成31年2月～令和元年7月の講演 清水慧 26
職場奮戦記 「東京2020組織委員会に出向 大会成功というゴールを目指して」 遠藤健 30
「スペシャルオリンピックス・北海道」 渡辺克己 32
「北海道を盛り上げたい! 企業版ふるさと納税」 宮腰和明 34
グローバル同窓生 「パリでの生活を通してグローバルについて思う」 前田和男 36
「札幌、東京、そしてアマーストへ（後編）」 吉原直毅 38
<演奏会・講演会>エルムの鐘交響楽団／北大合唱団東京OB会クラーククラブ／クリプトン・フューチャー・メディア 伊藤博之氏 講演会 42
北海道大学ホッケー部OBOG会 川村礼紀 44
多摩霊園墓参の誘い 平田更一 47
第61回「北大祭2019」 瀬古拓夢 48
名刺広告／新入会員・訃報 50
入会申込書 54
<お知らせ>ホームカミングデー2019 55
北海道大学の近況 （2019年冬・春） 北海道大学総務企画部広報課 56
<お知らせ>イベント・同窓会／4コマ漫画「蔵亜久人の北大あるある」 髙野葵 62
北海道の花「ハウチワカエデ」 鮫島惇一郎 64

企業広告

日本軽金属株式会社／株式会社財界さっぽろ／株式会社北海道日建設計／松尾ジンギスカン（株式会社マツオ）／中外製薬株式会社／株式会社トクヤマ／株式会社ブライダル／株式会社ぷらう／JR東日本グループ（東日本旅客鉄道株式会社） ※順不同

2019/08/20 No.55

アルミのことなら日軽金
日本軽金属株式会社

令和元年度 東京同窓会 総会

左より
石川裕一副会長
杉江和男会長
福士博司副会長

令和最初の総会は6月8日（土）16時半より、大学から笠原正典北大理事・副学長、関崎徳彦総務企画部長、乾優紀子広報課長、浅野賢二校友会エルム事務局長、北大関西同窓会から植松高志会長に来賓としてご出席賜り開催されました。

冒頭、司会の菅埜総務委員長より議決権行使書・委任状を含む出席者数（468名）が、規約第16条5項の規定にある総会成立要件を満たしている旨の報告があり、議長団として議長に杉江和男会長、副議長に石川裕一副会長、福士博司副会長が選出されました。

【平成30年度事業関連】

「第1号議案その1」の「平成30年度事業報告」が菅埜総務委員長より報告され、満場一致で承認されました。主な内容は次の通り。

A）会員拡大並びに組織強化活動

◎現在の会員数は前年度末より156名増の2336名（正会員1085名、メルマガ会員1251名）。◎『総会』2018年5月26日に開催、97名参加。數土文夫氏（JFEホールディングス名誉顧問※当時）による講演会開催。◎『新社会人歓迎』北大東京ジンパ2018』同年5月20日に開催、913名参加、新規入会47名。◎『クリスマスパーティー』同年12月12日に羽田空港ギャラクシーホールにて開催。112名参加、新規入会21名。◎交流勉強会〝北大丸の内カレッジ〟開催（計6回開催）。◎『新年交礼会』2019年1月11日開催。69名参加。◎『産業別エルム会』との交流促進（情報産業エルム会、食品産業エルム会）。◎各学部東京同窓会との連携（事務局長会議を開催。札幌農学同窓会名簿の電子化に協力）。◎『クラーク遺徳顕彰』2018年10月14日に多磨霊園墓参、22名参加。◎エルム談話室（毎月）◎囲碁クラブ（毎月）。

B）財政基盤の強化　◎繰越金（単年度）残高目標500万円に対し、実績870万円（除、校友会業務収支）。◎中長期会計繰越金300万円の目標に対し、実績580万円（2月末時点）。◎『FRONTIER』の企業広告・名刺広告合計104万円（2月末時点）。

C）広報・会員コミュニケーションの拡充　◎『FRONTIER』を8月と2月に発行。北大各学部・就活センター・エルムの森ショップ等への配布。◎「北大東京ジンパ2019」の学内ポスター掲示と会員募集チラシを卒業式で配布（5000部）。◎ホームページの充実（情報処理委員会の下にSNS分科会を運営、スマホ対応サイトの運営）。◎『メールマガジン』の発行。

D）募金・産学連携　◎学部同窓会、イベントにおける寄付・共同研究の呼びかけ。◎産学・地域協働推進機構と企業との橋渡し。

E）総会・役員会等の開催　総会（5／26）、評議員会2回（9／13、3／14）、理事会4回（9／13、12／6、2／7、3／14）、顧問・学部同窓会事務局長会議1回（2／7）、委員長会議3回（10／15、11／22、1／31）。

F）委員会等の活動組織の強化　委員会体制の強化（委員の拡充等）。

G）校友会エルムの支援　◎東京同窓会のノウハウを共有し支援すべく、各委員会での委員活動。◎国際学生コンペティション『Halt Prize』参加費の一部10万円を協賛。◎『新渡戸カレッジ』へのフェロー候補紹介支援。◎交友会エルムに対し『個人情報の共同利用に関する覚書』を締結。◎本学主催の進学相談会並びに交友会エルム主催の就職相談会支援。

「第1号議案その2」の「平成30年度決算報告」は萱野財務委員長より、監査報告は鷲田監事よりそれぞれ報告され、満場一致で承認されました。続いて、「第2号議案その1」の「令和元年度事業計画」は菅埜総務委員長より、「第2号議案その2」の「令和元年度収支計画」は萱野財務委員長よりそれぞれ報告され、満場一致で承認されました。「令和元年度事業計画案」の主な内容は次の通り。

【令和元年度事業計画案】

A）会員拡大並びに組織強化活動

①多様化する同窓生（若手、女性、団塊世代等）の入会促進、システム化の検討。②大学と連携を図り同窓会の組織強化の向上を目的としたイベント実施、北大卒業生のプラットホーム形成を目指した同窓会のブランド化を図る。③新年交礼会の開催。④産業別エルム会との交流促進（情報産業、食品産業）。⑤校友会エルムや各学部東京同窓会との連携強化（学部同窓会事務局長会議の開催）。⑥クラーク遺徳顕彰（多磨霊園墓参の開催など）の実施。⑦エルム談話室（毎月第1金曜日）の開催。⑧囲碁クラブなど趣味の集まりの充実。

B）財政基盤の強化　繰越金（単年度）残高500万円の維持・確保。②中長期会計繰越金300万円維持・確保。③『FRONTIER』広告収入の増強に向け、個人寄付等からの収入増。

C）広報・会員コミュニケーションの拡充　①広報誌『FRONTIER』を8月、2月に発行する。②会員募集チラシや「北大東京ジンパ2020」のPOP掲示（学内）、チラシ作成等会員の拡大。③ホームページの充実（大学ホームページとの情報シンクロ等）。④『メールマガジン』の発行（ネット会員の拡充）。⑤北大生涯メールサービス（大学が生涯利用できるメールアドレスを付与）の活用。⑥SNS(Facebook等)の組織的活用。

D）募金・産学連携　①大学との緊密な連携のもと産学共同事業の推進。②学部同窓会、イベントにおける寄付・共同研究の呼びかけ。③寄付講座の企画と協力。

E）総会・役員会等の開催　※詳細は「北大東京同窓会2019年度スケジュール」参照。

F）委員会の組織の強化　①各委員会の役割・機能の再整理、体制強化。②委員長会議の適宜開催、各委員会の機能強化と体制推進。

G）校友会エルムの支援　①東京同窓会のノウハウを共有して支援すべく、各委員会で活動をする。②国際学生コンペティション『Halt Prize』参加費の一部10万円を協賛する。③『新渡戸カレッジ』へのフェロー候補の紹介支援。④本学主催の進学相談会並びに交友会エルム主催の就職相談会支援。

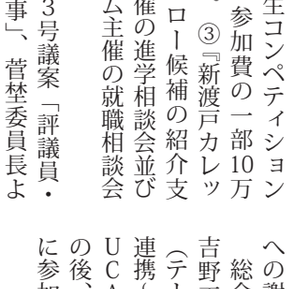
議長より第3号議案「評議員・理事役員等人事」、萱埜委員長より第4号議案「北大東京同窓会規約改定」がそれぞれ説明され、満場一致で承認されました。

規約改定の主なポイントは次の通り。◎第2条：事務局の業務内容と代表者を付則に定める旨を追加。◎第3条・第4条：大学に対して募金、産学連携活動の強化を進めており、その趣旨を踏まえた条文に改定。◎第5条：「会員」の有資格者に同窓生、卒業生のほか入学者なども追加。◎第8条・第11条：「役員の選出」に関し、会長候補指名委員会規定を別途設けたことによる条文変更。◎第14条：年度内の事業の追加、変更、中止は理事会の審議、決定で行う旨を追記。◎第15条：評議員は理事会に同席し意見を述べることができる旨を明記。

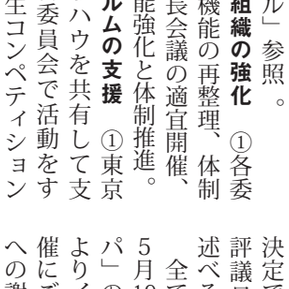
全ての議案が承認され、最後に5月19日に開催された「東京ジンパ」の実行委員長・上満研吾さんよりイベントの報告、ならびに開催にご協力いただいた会員の方々への謝辞がありました。

総会後、北大COIリーダーの吉野正則さんの約1時間の講演（テーマ：北海道大学と産学地域連携～食と健康、先の読めないVUCA時代）が行われました。その後、懇親会が開宴され、賑やかに参加者の交流が図られました。

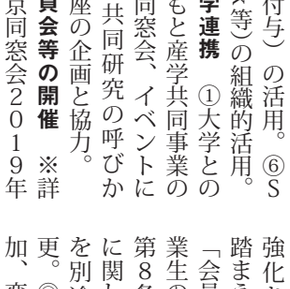
■日時：令和元年6月8日（土）16時半　会場：日本倶楽部



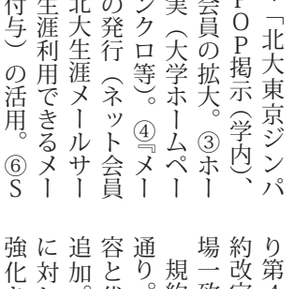
上満研吾ジンパ実行委員長
（H27経院）



鷲田千臣監事
（S58農）



萱野聡財務委員長
（S62法）



菅埜誠総務委員長
（S52法）

北海道大学東京同窓会　令和元年度　委員会役員

■は新任　　丸数字は評議員の就任年数

委員会名	委員長	副委員長	委　員
総務委員会	②菅埜　誠(経S52)	⑦大野　隆明(水院H13)	⑫堀江　亮介(法S61)
(事務局)		⑬大久保　英俊(法S56)	⑩畠山　義彦(水S55)
		■①米子　智裕(農H02)	⑩坂本　茂(経H13)
			①平野　友善(文H5)
			①渡辺　明日香(法H18)
			②小島　恵太(法H29)
組織・交流委員会	■⑧西野　順子(農院H1)	⑤山田　尚大(工院H23)	⑩及川　正規(工S47)
			⑩常松　尚史(経H20)
			⑨小坂　由紀(理院H19)
			⑧小中出　拓也(工院H23)
			⑤久野　和哉(経H24)
			③辻本　陽平(情報院H25)
			③楊　ジョウ(環境院H25)
			③上満　研吾(経院H27)
			③内山　壮(文H28)
			○高田　茂樹(農H25)
			■関　良子(法H21)
			■岩田　渉賡(法H29)
			■川原　史識(農院H25)
			■田村　康将(情報院H27)
			■橋本　和大(水院H28)
			■山本　淳博(環境院H30)
			■高野　直人(文H30)
			■布川　敦士(工院H30)
			■西田　実弘(経H30)
財務委員会	⑩萱野　聡(法S62)	■①平野　友善(文H5)	■波田　大專(経H24)
			■③上満　研吾(経院H27)
広報委員会	⑩高橋　寛(農S62)	⑫川添　公貴(工応化S56)	⑪八谷　俊雄(法H2)
	④島田　久(工金属S61)		③松永　千代(文H14)
			③髙野　葵(環境科学院H25)
			④青山　千穂(農院H23)
			○陣谷　義直(経S51)
			○浦崎稔史（H22工院）
			○山本淳博（H30環境科学院）
情報処理委員会	⑥松谷　寛(工電S52)	②原田　武志(工土木H19)	⑩浜名　純(農S48)
		■①中村　秀治(工建築S58)	⑨溝口　尚重(農H7)
			②千葉　寛之(工情報院S63)
			②大久保　高樹(工合成H4)
			②長谷川　健(理地惑H14)
			⑫川添　公貴(工応化S56)
募金・産学連携委員会	■②廣重　勝彦(法S57)	⑨杉江　和男(工院S45)	④永田　明(農S54)
		■①井上　修平(工S50)	⑩高橋　寛(農S62)
		④菅野　彰一(工建S53)	⑩萱野　聡(法S62)
		★石川　裕一(法S54)	⑬大西　裕子(文修H3)
			⑨溝口　尚重(農H7)
			⑩楯　裕史(法H10)
			⑩坂本　茂(経H13)
			⑩高橋　良佳(医H16)
			⑩常松　尚史(経H20)
クラーク遺徳顕彰・墓参			⑭平田　更一(理植S44)
			■①清水　全生(工土木S45)
			○前田　直寛(工土木S43)
			○清水　慧(工衛生S43)
			○関口　光雄(工土木S43)

北海道大学東京同窓会　令和元年度　会長･副会長･理事･監事

■は新任　★は特命理事　　会長･副会長の丸数字は夫々の就任年数　　理事･監事の丸数字は評議員年数

会長	⑥杉江 和男(工応化院S45)		
副会長	③梶谷　辰哉(農林S50)	⑥小坂　達朗(農化S51)	⑥樋口 達夫(水S52)
	④福士　博司(工合化S57)	■⑩弘田　裕(医S57)	★石川　裕一(法S54)
理事	⑭平田　更一(理植S44)	⑦佐藤　育男(工原S47)	⑩及川　正規(工S47)
	③土屋　裕(薬S50)	⑧松谷　有希雄(医S50)	②菅埜　誠(経S52)
	⑥松谷　寛(工電S52)	④永田　明(農S54)	④菅野　彰一(工建S53)
	⑩畠山　義彦(水産S55)	⑥福西　真(法S55)	⑫川添　公貴(工応化S56)
	■⑬大久保　英俊(法S56)	⑧畠山　昌則(医S56)	②廣重　勝彦(法S57)
	■①中村　秀治(工建S58)	■①横田　浩(経S60)	■①杉崎　順平(歯S60)
	⑦志済　聡子(法S61)	④島田　久(工S61)	⑧馬庭　透(電子S61)
	⑩高橋　寛(農S62)	⑧西野　順子(農S62)	⑩萱野　聡(法S62)
	⑤橋本 大志(理H1)	⑬足立　直子(工電H2)	③今田　久美子(教H2)
	■①米子　智裕(農H2)	⑬大西　裕子(文H3修)	■①平野　友善(文H5)
	⑨溝口　尚重(農H7)	⑩坂本　茂(経H13)	⑩中田　裕康(文H15)
	②原田　武志(工H19)	⑩常松　尚史(経H20)	⑩杉山　美雪(経H20)
	⑤山田 尚大(工院H23)	③上満　研吾(経修H27)	
(特命理事)	★松沢　幸一(農化S46)	★石川　裕一(法S54)	★伊藤　洋(農生S48)
	★野呂　忠一(薬S39)		
監事	⑩鷲田　千臣(農S58)	⑧向井　拓(法H5)	⑤沖崎　遼(法H21)

北海道大学東京同窓会　令和元年度　スケジュール

		2018年度	2019年('19年度)									2020年('19年度)			2020年('20年度)		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1	総会				8日(土)												6日(土)
2	評議員会	14日(木)						19日(木)						12日(木)			
3	理事会	14日(木)						19日(木)			5日(木)		6日(木)	12日(木)			
4	顧問会議/ 学部同窓会 事務局長会議												6日(木)				
5	新年交礼会											10日(金)					
6	組織強化活動																
	ジンパ/忘年会			19日(日) ジンパ							忘年会					ジンパ	
	OG会																
	丸の内カレッジ ＜年2回程度の開催＞																
7	クラーク遺徳顕彰・墓参								14日(月) 雲園墓参								
8	募金・産学連携活動																
9	広報活動・会報誌発行						フロンティア 発行						フロンティア 発行				
10	エルム談話室 ＜毎月開催＞																
11	ホームカミングデー							28日(土)									
12	校友会エルム総会				上旬												

北海道大学東京同窓会　令和元年度　評議員(世代)一覧表

卒年		学部	名前	就任	理事	委員会
20歳代						
H29	2017	法	小島　恵太	2		総務委員会
H26	2014	情報院	多田　宗弘	3		
H26	2014	環境院	宮佐　穂奈未	2		
H25	2013	情報院	辻本　陽平	3		組織・交流委員会
H25	2013	環境院	高野　葵	3		広報委員会
H25	2013	環境院	楊　ジョウ	3		組織・交流委員会
H24	2012	経	久野　和哉	3		組織・交流委員会
H24	2012	文修	彭　秀実	2		
小計			8	名		
30歳代						
H23	2011	工院	山田　尚大	5	理事	組織・交流委員会副委員長
H22	2010	経済	中西　克彦	8		
H22	2010	工院	小中出　拓也	7		組織・交流委員会
H21	2009	法	沖崎　遼	5	監事	
H21	2009	工	宮田　康大	3		
H20	2008	経済	杉山　美雪	10	理事	
H20	2008	経済	常松　尚史	10	理事	組織・交流委員会 募金・産学連携委員
H20	2008	経済	田口　光輔	10		
H20	2008	工院	加藤　貴臣	10		
H19	2007	工	宮田　浩臣	10		
H18	2006	経済	濱田　恵輔	10		
H19	2007	農院	鈴木　貴文	7		
H19	2007	工	原田　武志	2	理事	情報処理委員会副委員長
H17	2005	経済	小寺　佑太	10		
H17	2005	法	山田　敏之	10		
H17	2005	工	酒井　美帆	10		
H16	2004	理	増岡　弘之	10		
H16	2004	医	高橋　良佳	10		募金・産学連携委員会
H15	2004	水産	矢部　いつか	10		
H15	2003	文	中田　裕康	10	理事	
H15	2003	経済	西　孝一郎	8		
H14	2004	文	松永　千代	3		広報委員会
H14	2004	理	長谷川　健	2		情報処理委員会
小計			23	名		

卒年		学部	名前	就任年数	理事	委員会
40歳代						
H12	2000	農	三浦　隆司	10		
H12	2000	水産	前田　亘宏	8		
H10	1998	法	山本　剛	10		
H10	1998	法	椙　裕史	10		募金・産学連携委員会
H10	1998	歯	上岡　理晴	10		
H09	1997	工	山口　建章	10		
H07	1995	医	柳原　正智	10		
H07	1995	工	舘野　敬	10		
H07	1995	農	溝口　尚重	9	理事	情報処理委員会 募金・産学連携委員
H06	1994	法	高田　清志	10		
H06	1994	理	西川　達雄	10		
H05	1993	医	岩村　美佳	10		
H05	1993	水産	石原　敏章	10		
H04	1992	工	高野　伸一	10		
H04	1992	工	都築　真人	10		
H04	1992	工院	江原　猛	10		
H04	1992	工	大久保　高樹	2		情報処理委員会
小計			17	名		
50歳代						
H02	1991	工院	黒田　政寿	10		
H03	1990	農	米子　智裕	1	理事	総務委員会副委員長
H02	1990	経済	宇治原　里志	10		
H02	1990	教育	今田　久美子	3	理事	
H01	1989	工	依田　肇	10		
H01	1989	工	松田　茂広	10		
H01	1989	工	山森　聡	10		
H01	1989	理	橋本　大志	5	理事	
S63	1988	法	石関　正浩	10		
S63	1988	理	原澤　直子	10		
S63	1988	医	根本浩一郎	4		
S63	1988	工院	千葉　寛之	2		情報処理委員会
S62	1987	法	萱野　聡	10	理事	財務委員会委員長 募金・産学連携委員
S62	1987	農	岡村　浩	10		
S62	1987	理	村田　雅治	10		
S61	1986	工	島田　久	4	理事	広報委員会委員長
S61	1986	理院	中丸　裕樹	10		
S61	1986	理	中村　知道	8		
S60	1985	工	臼田　亨	10		
S59	1984	工	岩崎　哲也	10		
S58	1983	農	鷲田　千臣	10	監事	
S57	1982	工	福士　博司	3	副会長	
S57	1982	経済	井上　明	10		
S57	1982	水	阿部　修司	5		
小計			24	名		

卒年		学部	名前	就任年数	理事	委員会
60歳代以上						
S56	1981	農	佐藤　寛	8		
S56	1981	農	鈴木　信哉	10		
S56	1981	農	内田　敏博	10		
S56	1981	工院	岩瀬　徹哉	5		
S55	1980	工	居駒　幹夫	10		
S55	1980	水産	畠山　義彦	10	理事	総務委員会
S55	1980	工院	藤田　栄	10		
S54	1981	農	永田　明	4	理事	募金・産学連携委員会
S57	1982	医	弘田　裕	10	副会長	
S53	1978	工建	菅野　彰一	4	理事	募金・産学連携委員会副委員長
S53	1978	工院	中島　敏夫	10		
S53	1978	獣	境　政人	4		
S51	1976	農化	小坂　達郎	7	副会長	
S51	1976	医	五十嵐 良雄	7		
S50	1975	農	梶谷　辰哉	11	副会長	
S50	1975	工	井上　修平	1		募金・産学連携委員会
S48	1973	農	浜名　純	10		情報処理委員会
S48	1973	工	小山内　清潤	7		
S47	1972	工	及川　正規	10	理事	組織・交流委員会
S46	1971	農	高島　章生	10		
S45	1970	工	鈴木　憲	10		
S45	1970	農	高橋　周	10		
S44	1969	工	石井　哲夫	10		
S42	1967	工	岡　隆次郎	10		
S42	1967	医	伊藤　敦之	10		
小計			25	名		
合計			97	名		

北海道大学東京同窓会　令和元年度　評議員(学部)一覧表

学部卒年	名前	就任年数	理事	委員会
農学部				
S48林	川喜多　進	11		
S50農化	丹羽　弘	8		
S51農化	戸田　信之	8		
S62農工	高橋　寛	10	理事	広報委員会委員長 募金・産学連携委員会
S62農工	瀬戸山　洋介	12		
H1農院	西野　順子	8	理事	組織・交流委員会委員長
H15生資	遠藤　寛	8		
H18農研	伊藤 真吾	3		
H22生資	二木　智	8		
H21共生	鈴木　克昌	8		
H23院	青山　千穂	4		広報委員会
小計	11	名		
獣医学部				
S45獣医	采　孟	8		
S59獣医	矢原　芳博	4		
H11獣医	米久保 和樹	3		
小計	3	名		
薬学部				
S49薬	近藤　達仁	8		
H50薬	土屋　裕	3	理事	
小計	2	名		
医学部				
S50医	松谷　有希雄	12	理事	
S56医	畠山　昌則	8	理事	
S58医	福島　亮治	8		
S60医	千村　浩	13		
S61医	大塚　吾郎	12		
S61医	森　清	12		
H01医	杉森　裕樹	12		
H05医	松本　明郎	6		
H13医	中田　勝巳	12		
小計	9	名		
歯学部				
S60歯	杉崎　順平	1	理事	
小計	1	名		

学部卒年	名前	就任年数	理事	委員会
理学部				
S44植	平田　更一	14	理事	クラーク遺徳顕彰墓参委員会
S52地鉱院	勝島　尚美	7		情報処理委員会
S59数学	鈴木　徹	12		
H14地球	相澤　晃	11		
H19化	小坂　由紀	9		組織・交流委員会
小計	5	名		
工学部				
S44機械	中原　豊	13		
S45応化院	杉江　和男	9	会長	募金・産学連携委員会 副委員長
S45土木	清水　全生	1		クラーク遺徳顕彰墓参委員会
S47原子	佐藤　宥男	7	理事	
S47機械	留目　一英	8		
S47機械	仲　裕	12		
S48建	足立　守	9		
S49建	中山 茂樹	7		
S50金属	山崎 信男	8		
S52電子	松谷　寛	6	理事	情報処理委員会委員長
S52原子	大谷　武彦	12		
S52金属	升光　法行	8		
S56応化	川添　公貴	12	理事	広報委員会副委員長 情報処理委員会
S57土木	本多　清暢	10		募金・産学連携委員会
S56合成	谷口　泰之	9		
S56土木	野田　徹	3		
S57電気	松尾　望	8		
S57土木	増田　連	8		
S58建	中村　秀治	1	理事	情報処理委員会副委員長
S60機械	石田　充	12		
S60機械	菊地　正武	12		
S61電子	馬庭　透	8	理事	
H01衛生	熊谷　和哉	1		
H01衛生	遠藤　文則	1		
H02電子	足立　直子	13	理事	
H03電子	鈴木　政直	4		
H07合成	平畠　亘	10		
H07情科院	滝内　邦弘	4		
H15情科院	山田　将史	7		
H17環境	豊部　泰子	11		
H21資源	中山　卓人	4		
小計	31	名		
水産学部				
S52食修	樋口　達夫	7	副会長	
S61食	中田　邦彦	8		
H03食	釜谷　明	11		
H06食修	大野　陽明	7		総務委員会副委員長
小計	4	名		

学部卒年	名前	就任年数	理事	委員会
文学部				
H03文修	大西　裕子	13	理事	募金・産学連携委員会
H05文	平野　友善	1	理事	財務委員会副委員長 総務委員会
H28文	内山　壮	3		組織・交流委員会
小計	3	名		
教育学部				
H03教育	中島 樹生	9		
小計	1	名		
法学部				
S44法	佐藤　尚夫	13		
S47法	西村　寛	13		
S50法	奥野　滋	8		
S50法	新城　修	13		
S55法	福西　真	6	理事	
S56法	高見　之雄	8		
S56法	大久保　英俊	13	理事	総務委員会 副委員長
S57法	廣重　勝彦	2	理事	募金・産学連携委員長
S61法	志済　聡子	7	理事	
H01法	佐藤　光子	12		
H02法	山口　公範	12		
H02法	八谷　俊雄	11		広報委員会
H03法	石橋　祐介	8		
H05法	向井　拓	8	監事	
H18法	渡辺　明日香	1		総務委員会
小計	15	名		
経済学部				
S47経済	半崎　貴敏	8		
S52経済	菅埜　誠	2	理事	総務委員会委員長
S60経済	横田　浩	1	理事	
S60経済	中井　啓之	8		広報委員会
HO1経済	早川　寛教	12		
H07経済	三上　裕史	7		
H07経済	藤井　考先	8		
H13経済	坂本　茂	10	理事	総務委員会 募金・産学連携委員会
H20経済	大場　亮佑	2		
H21経院	西尾　尚浩	8		
H23経	西舘　卓人	1		
H27経院	上満　研吾	3	理事	組織・交流委員会 財務委員会
小計	12	名		
	97	名		

S46農化	松沢　幸一	特命	理事	
S54法	石川　裕一	特命	副会長	募金・産学連携委員会 副委員長

S48農生	伊藤　洋	特命	理事	
S39薬	野呂　忠一	特命	理事	

北海道大学東京同窓会規約

【名称】第１条　本会は、北海道大学東京同窓会と称する。

【事務局】第２条　本会は、事務局を東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10Ｆ 北海道大学東京オフィス内に置く。事務局は、本会の運営にかかわる業務をおこなう。
２．事務局の代表は付則に記す。

【目的】第３条　本会は、会員相互が広く知識・情報を交換し、多様な価値観を認めこれを融合させるよう研鑽し、親睦融和を深め、母校および校友会エルム、その他関係者、組織との連携をはかり、母校への支援とその発展に寄与することを目的とする。

【事業】第４条　本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
⑴北海道大学及び各学部への支援および情報交換、連絡ならびに交流
⑵北海道大学校友会エルム、および各同窓会組織との情報共有
⑶会員との連絡
⑷会報の発行
⑸親睦会の実施
⑹その他、本会の目的達成に必要と認める事業

【会員】第５条　本会の会員は関東甲信越（東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟・静岡の1都10県）に在住または勤務する下記の入学者などを有資格者とし、そのうち所定の会費を収めたものを会員とする。
⑴北海道大学（旧名称の校名、医療技術短期大学を含む）各学科、大学院、各学部およびその付属学校
⑵前号以外の教官、職員、研究に従事したもので、入会を希望する者
⑶前⑴⑵に該当し、上記以外に居住するもので、入会を希望する者

【入会・退会】第６条　入会または退会しようとする者は、その旨を会長に届け出るものとする。
２．会員は、住所、職業などの変更があった場合には会長に届け出るものとする。
３．会員として本会に著しい損害を与えた場合、本会の活動を妨害した場合、また名誉を毀損する行為があった場合、会長は理事会の審議を経て該当会員を退会処分とする。

【会費】第７条　会員は、入会時に入会金として1,000円、年会費3,000円を納めるものとする。なお、退会後再度入会する場合も入会金はその都度納めるものとする。
ただし、イベントの時入会の場合、会長は当該年度の年会費を減額することができる。
２．年会費は、5年分を一括して納めることができ、その場合は10,000円とする。なお、一括払いの期間中に退会した場合でも、返金は行わない。
３．60歳以上の会員で50，000円を一時に納入した場合は終身会員とし、以後の年会費を免除する。

【役員】第８条　本会に次の役員を置く。
会　長　1名
副会長　2～7名
理　事　25～38名
監　事　3～5名
以上合計50名以内
評議員（学部選出）100名以内
評議員（世代選出）100名以内

【役員の資格】第９条　役員は会員であることを要する。

【役員の任期】第10条　役員の任期は3年とする。再任は妨げない。ただし、会長および副会長は、夫々就任後任期2期（6年）を上限とする。
２．学部選出の評議員と世代選出の評議員は任期を通算する。
３．役員の欠員が生じたときには、速やかに補充し、その任期は前任者の残余期間とする。

【役員の選出】第11条　評議員は、総会において学部ごとに、また世代ごとに選出する。
２．学部選出の評議員は、原則として会員数の比例配分をもって選出する。
３．世代選出の評議員は、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上の5区分にて選出する。
４．評議員会において、理事および監事を推薦する。
５．理事および監事は、評議員会において自らの議決権　を行使はできない。
６．別途定める会長候補指名委員会規定に従い、同委員会が会長候補を選考し、理事会の承認により会長を選出する。
７．会長は、理事の中から副会長を選任し、委嘱する。
８．本条第4項による評議員会において推薦する理事のほか、会長は評議員会の承認を得て最大限5名の特命理事を任命することができる。ただし、その任期は1年とし再任は妨げない。

【役員の業務分担】第12条　会長は、本会を代表し、会務を統轄する。
２．副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、会長が予め指名した順序によって、その職務を代行する。
３．理事は、会務を分掌する。
４．監事は会計および会務の執行を監査し、その結果を通常総会に報告する。また、その職務を遂行するため、理事会・評議員会に出席し、意見を述べることができる。
５．本会の全般にまたがる重要な会務を協議し執行するために委員長会議を設置し、会長業務を補佐する。

【本会の運営及び会議】第13条　本会の運営は、理事会・評議員会および総会により行う。

【理事会】第14条　理事会は、会長・副会長・理事を持って構成し、会長が召集して議長となり、本会の運営並びに日常の会務を処理し、重要な会務を審議・決定する。
２．次の事項は、理事会の審議・決定を経なければならない。但し、評議員会もしくは総会でそれぞれ動議により採択された議決事項、第15条第4項第2項に基づく議決事項および第16条第3項第3号に基づく議決事項を除く。
1.評議員会に提出し議決を要する事項
2.総会に提出し議決を要する事項
３．特段の事情による年度内の事業の追加・変更・中止は、理事会の審議・決定をもってこれを行う。

【評議員会】第15条　評議員会は、別に定める総会の議決を要する事項を除く会務、会長が重要と認めた執行上必要な基本的事項を議決する。
２．緊急を要する場合は、総会に替わる事項を議決できる。ただし、この場合は次の総会における追認を要する。
３．評議員会は、議長1名、副議長2名を互選する。
４．評議員会は、次の場合に、会長が召集する。
⑴会長が必要と認めたとき
⑵評議員の5分の1以上が会議の目的事項を示してその開催を要求したとき
５．評議員会は、評議員の5分の1以上の出席により成立し、第11条第4項の理事及び監事を除く出席議員の過半数をもって議決する。可否同数のときは議長がこれを決する。
６．ただし、予め書面をもって議案につき賛否の意思表示をしたとき、または委任状の提出など本会が定める方法により委任の意を表したときは出席とみなす。
７．評議員は、理事会に同席し意見を述べることができる。

【総会】第16条　通常総会は、毎会計年度の終了後3ヶ月以内に1回開催する。
２．通常総会は、役員の選任・解任、事業報告、事業計画の承認およびその他の重要事項を議決する。また、会長は、総会において本会の理事会にて決定した事項及び評議員会において議決された事項を報告するものとする。
３．次の場合、必要に応じて臨時総会を開くことができる。
⑴会長が必要と認めたとき
⑵評議員会が必要と認めたとき
⑶会員の10分の1以上、または監事が会議の目的事項を示してその開催を要求したとき
４．総会は、議長1名、副議長2名を互選する。
５．総会の議事は、会員の5分の1以上の出席により成立し、出席者の過半数をもって議決する。可否同数のときは議長がこれを決する。
６．ただし、予め書面をもって議案につき賛否の意思表示をしたとき、または委任状の提出など本会が定める方法により委任の意を表したときは出席とみなす。

【議事録の公開】第17条　理事会、評議員会、総会は、議事録を作成して事務局に保管し、会員の求めに応じ閲覧に供する。

【委員会の設置】第18条　理事会は、必要に応じ、各種委員会を置くことができる。
２．委員会の委員長は、理事から選出し、会長が委嘱する。
３．委員会の委員は、委員長が選出し、会長が委嘱する。
４．委員会は、議事録を作成して保管する。

【会計】第19条　本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入によって充てる。
２．本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
３．会長は、会計年度ごとに決算報告書を作成し会計監査を経た上で、通常総会に提出し、その承認を得なければならない。

【規約の変更】第20条　この規約の変更は、評議員会における出席者の4分の3の賛成を経て、総会の承認を得なければならない。

付則　事務局代表
２０１９年６月８日現在　廣重　晃以
改定歴
２０１５年５月１６日改定
２０１９年６月８日改定

名誉会長、顧問及び名誉会員経過規定

第１条　本会は、会長の発意と会員の総意に基づいて名誉会長を置くことができる。
第２条　本会は、会長が必要あると認めるとき、顧問を置くことができる。顧問は、本会の運営の基本方針について、会長の相談にあずかる。
第３条　本会は、別に名誉会員を定めることができる。
第４条　この改定規約は2011年4月1日より施行する。

会長候補指名委員会規定

【目的】第１条　本会を代表し会務を統括する会長候補者の円滑かつ透明な選任を行うことを目的として会長候補者指名委員会（以下本委員会）を設置する。

【構成】第２条　本委員会は、会長・副会長・前会長をもって組織する。委員長は委員の協議により選任する。
2. 本委員会では、必要に応じ委員以外が出席し意見を述べることができる。

【招集】第３条　本委員会は委員長が招集する。各委員は招集を請求することができる。

【会議】第４条　本委員会の議長は、委員長が行う。但し、委員長が事故、その他の事情により出席できない場合は、委員の協議により議長を選任する。
2. 本委員会の決議は、委員の過半数が出席し、出席委員の過半数をもって行う。
3.本委員会は、会長候補を選考し理事会に上程する。

【記録・報告】第5条　本委員会の議事録を作成し、北大東京同窓会事務局にて保管する。
2.議事録は、会長の承認を得てこれを閲覧することができる。

【事務局】第6条　本委員会の事務局は、総務委員会が行う。

【改定・施行】第7条　本規定の改定は、本委員会の決議と理事会の承認をもって行う。
本規定は2019年6月8日より施行する。

情報を先取り、タブーに挑戦

政治、経済、社会を直撃 財界さっぽろ

東京都内で「財界さっぽろ」は次の書店でお求めになれます。

紀伊國屋書店	新宿本店
三省堂書店	神保町本店・有楽町店
丸 善	アークヒルズ店

デジタル版配信中!
弊社ホームページよりお申し込みください

毎月15日発売
北海道最大の部数を誇る 月刊総合誌

年間購読のお申込は、お電話かホームページで
財界さっぽろ 検索

株式会社 財界さっぽろ
札幌市中央区南9条西1丁目1番15号 TEL：011-521-5151
代表取締役社長 舟本 秀男 http://www.zaikaisapporo.co.jp/

みんなで「つくる」を大切に

北海道日建設計は、日建設計のグループ会社として 1956 年に誕生しました。
これまで、北海道の人と風土に根ざした「生活環境や社会環境づくり」を目的に、建物をつくるだけではなく、多くの人々との交流をもとに、みんなで「つくる」を実践してきました。
これからも、環境に配慮した美しい景観の創出をはじめ、人々が「生きる場」としての街づくり・空間づくりに取り組んでいきます。

取締役会長 菅野 彰一（工・昭53・建）
代表取締役副社長 久保田 克己（工・昭59・建）

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

株式会社 北海道日建設計
札幌市中央区大通西 8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル
TEL: 011-241-9530 FAX: 011-261-7673
URL: http://www.h-nikken.co.jp

風景との対話

フランス風景 雑感

初谷長治（S45・理・物理）

パリ・オペラ座からの眺め

モンサンミッシェルの夕日

北米への出張を除けば、私が今まで最も多く訪れた外国はフランスになります。40年近く前、初めてドイツからバスに乗ってフランスへ入った時の印象でいえば、ドイツの道路周辺はサッパリと小綺麗でしたが、国境を越えてフランスへ入ると雑然としていて、余り片付いた様子もない風景でしたので、これがヨーロッパのゲルマン人とラテン人の違いなのかなーと感じた事を覚えています。ただ季節が晩秋だったこともあり、刈り入れた後の畑は地平線まで「土色」が続き、フランスが豊かな農業国でもあるとの印象を持ちました。2012年頃、パリからロアール地方まで南西200キロ程をドライブした時の、高速道路から見た風景でも同じように感じました。この時は夏の盛りだったので畑が良く耕され、日本の田園風景とは大分違った豊かな農村を実感しました。

パリに滞在する多くの旅行者は、近郊のベルサイユ宮殿に訪れ、往々にして宮殿の中の居室とか「鏡の間」とかを見て帰ってしまいますが、実はベルサイユ宮殿はその庭こそが立派で広く、長旅を忘れさせる程であり、なかでもプチトリアノンとその庭園は必見の風景です。

また田園風景と言えば、初期印象派のミレーを中心とした画家達が好んで描いた、パリ近郊では有名なバルビゾンの景色とその近くの離宮「フォンテーヌブロー城」の落ち着いた風景は、成程と人を唸らせる魅力があります。

さて今回持ち出した油絵は、パリ中心部にある「オペラ座」のバルコニーから市街を見渡した絵です。ただ見渡しただけではつまらないので、少し立ち位置を後ろに引き、扉の枠を入れたところ、思わず床に反射した陽光が印象的でしたのでそのまま油絵にしてしまいました。これも一幅の風景ではないでしょうか？

もう一枚は4年前にパリから真西の方角の大西洋岸にある有名な「モンサンミッシェル」です。

実態は修道院との案内ですが、これはまさに「要塞」と言えるでしょう。中世に何百年かを掛けて出来上がったらしく、言うなれば大西洋からの突然の外的侵入に備えた「山城」そのものに思えました。

中世ならば兵士数百人の籠城が可能と思われました。一端上陸した侵略者もここで見張られてしまっては一歩も内陸には進めないでしょう。一般住民（領民）もどれだけ頼りがいを感じていたかが想像できます。そんなことを感じながらこの絵を描きました。

新社会人歓迎

北大東京ジンパ2019

1129名のAmbitious!

令和元年5月19日 国営昭和記念公園

北大東京ジンパ史上初の1000人越え！

実行委員長　上満研吾（経院H27）

今年で7回目を迎える北大東京ジンパは、北大東京ジンパ史上初の１０００人越えとなる１１２９名の参加者と晴天にも恵まれ、盛会となりました。本会は会場である昭和記念公園バーベキューガーデン様をはじめ、ドリンクでご協賛をいただいたサッポロビール様、そして当日お手伝いいただいたボランティアの皆様のご支援があり、開催することができました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

ジンパ史上初の１０００人を超えた北大東京ジンパ成功の秘密は、これまでにない洗練された広告にあります。これまで、何となくで投稿していたFacebookの広告から、参加者を年齢や性別でセグメントに分け、それぞれのセグメントにあったＳＮＳを駆使して広告するという戦略に変えていきました。また、参加者が参加したいと思えるようなコンテンツを拡充。イベント詳細はもちろんのこと、北大東京ジンパの発展をともに支援してくださっていたサッポロビール様の歴史を取材したり、これまで少しずつ育ててきたジンパロゴやJintechなどを紹介していくことで、ジンパの進化とジンパブランドを参加者自身にも感じてもらえるよう工夫いたしました。

また、次に特筆すべきは１０００人規模のイベントを大きな問題もなくスケジュール通りに遂行できた当日オペレーション力。実行委員や当日ボランティアの方々のお力添えがあってのことでありますが、これまでの６回のナレッジが集結したことにより、予定よりも１時間も早く前準備が終わりました。まだまだ課題は残ってはおりますが、年々進化していることを感じていただけたかと思います。

次のジンパは１５００人かそれとも２０００人か…次なるステージに向けて実行委員一同準備を進めております。来年のジンパでまたお会いしましょう。

◇参加者にひと言 インタビュー!!

99年院卒の元プラントエンジニア

現在は札幌在住で、生命保険会社の営業マンとして全国を飛び回っています。タイミングよく関東で仕事が生じたので、ジンパに初めて参加しました。このようなイベントでできた人脈を大切にしたいですね。

2017年卒 エレクトーンサークルOB

サークルや文学部の仲間と初めて参加しました。学生の頃は自宅でも中央ローンでもジンギスカンを食べて楽しんでいましたが、まさか東京でジンパができるとは思っていなかったですね。とっても楽しいです。

文学部卒と教育学部卒の女子2人組

同じIT系職場の今年の新卒仲間です。ジンパのことはインスタで知って初めて参加しました。知らない人がたくさん話しかけてくれるのでとっても楽しいです。

2012年経済学部卒

3年前に前職の上司たちと人材紹介会社を設立して頑張っています！同窓会のイベントには時々参加して情報交換をしています。

2009年 法学部卒の女子2人組

大学同期の友だちがジンパの運営スタッフにいるので、わたしも参加するようになりました。今年は2回目です。ジンパではいろんな世代の人と話ができるのがいいですね。

2019年 経済学部新卒3人組

金融、証券、エネルギーの会社にそれぞれ今年春に入社して、目下研修中です。まだ全く実務はやってなくて、会社にかかってくる電話にさえ一度も出たことがないのですが、それでもボーナスを心待ちにしています（笑）。ジンパは同期との再会のいいきっかけになりました。

工学部資源卒

職場は北海道の町役場なのです

が、今年春から2年間の派遣で経済産業省に勤務しています。東京での仕事はまだ2か月目です。

北大交響楽団OBOG

このテントは北大交響楽団に所属していた3世代の先輩後輩の集まりです。ジンパのことはフェイスブックで知ってはいたのですが、これまではタイミングが合わず、今回が初めての参加です。

北大カフェプロジェクトOBOG

「北大カフェプロジェクト」は大学主催の「北大元気プロジェクト」を活かして、学内に定期的にカフェを出店し、学生や一般市民、観光客に憩いの場所を提供する活動を行っています。学生の時には中央ローンなどでジンギスカンをやっていたので、楽しかった当時のことを思い出しますね。

職場の女子3名で参加

歳も出身学部も異なる職場の北大卒の女子3名で初めて参加しました。たまたまテントで一緒になった参加者が、自分の父親の友人だということが分かり、とってもびっくりしています（笑）。

北海道名物
松尾ジンギスカン
松尾ジンギスカンブランドサイト
http://www.matsuo1956.jp/
店舗情報はこちら

銀座店(67席)
「銀座駅」・「東銀座駅」徒歩1分
東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ銀座2F
TEL 03-3572-2989
ランチ 11:30～15:00(14:30 L.O.)
ディナー 17:00～23:30(23:00 L.O.)

赤坂店(121席)
「赤坂駅」徒歩1分・「赤坂見附駅」徒歩4分
東京都港区赤坂4-3-6 A-FLAG赤坂 B1
TEL 03-3585-2989
ランチ 11:30～15:00(14:30 L.O.)
ディナー 17:00～23:00(22:30 L.O.)
【土日祝はディナーのみ営業】17:00～22:00(21:30 L.O.)
※ランチ帯は応相談(14名様以上で貸切可)

来店時・ご提示で
ご飲食代10%割引券
※「北海道大学東京同窓会会員」様限定クーポンです。ご来店時に本ページをご提示ください。
※他券・他割引併用不可
※「新宿三丁目店」「銀座店」「赤坂店」でのみ、ご利用可能
回収印

校友会エルム
活動の様子

北海道大学校友会エルム
第4回定時総会

校友会エルム事務局長 浅野賢二

校友会エルムでは、第4回となる定時総会を6月14日（金）15時より北海道大学学術交流会館にて開催しました。本総会は、代議員53名のうち、海外同窓会9名を含む過半数となる36名の出席をいただき、会則第20条に定める決議要件を満たしている旨の報告があり議事を開始いたしました。

最初に報告事項「平成30年度事業報告」があり、遠藤監事による監査結果報告及び事務局から事業内容について報告されました。

第1号議案「平成30年度決算報告」

平成30年度の決算の内容について事務局より説明され審議の結果、意義なく了承されました。

第2号議案「役員の選任」（別紙：役員一覧）

校友会エルム役員の任期については、会則第29条により「選任後2年以内に終了する事業年度の定時総会の終結の時までとする。」とされていることから、「役員選出規程」第2条に基づき、本年2月6日に「次期役員候補者推薦委員会」を設置し選出作業を進めてきました。総会では、推薦委員会から選出された役員候補者について諮られ、意義なく了承されました。

引き続き、会則第26条により「会長、副会長の選任については、理事会の決議によって理事の中から選定する。」こととされているため、別室にて第1回理事会を開催し審議の結果、会長に杉江和男理事、副会長に笠原正典理事、佐々木亮子理事、植松高志理事の3名を選任した旨報告されました。

次に報告事項として、「令和元年度事業計画及び予算（案）」、「基礎同窓会への登録申請」について事務局より説明され、最後に本総会の終結をもって任期満了により退任する石山会長からの挨拶があり総会を終了しました。

総会終了後の懇親会は、杉江新会長の挨拶で始まり、校友会の重点事項として取り組んでいる「国際インターンシップ」派遣学生からの報告もあり、終始和やかに懇親を深める機会となりました。

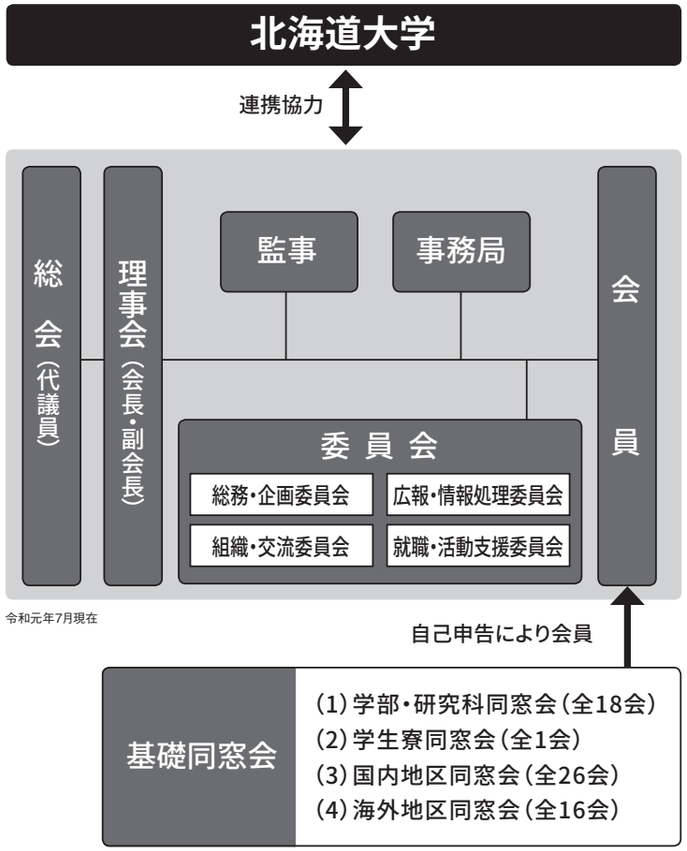
北海道大学校友会エルム 役員一覧

（任期:令和元年6月14日～令和3年総会日）

会　長	杉江和男	東京同窓会
副会長	笠原正典	北海道大学
副会長	佐々木亮子	法学部同窓会
副会長	植松高志	関西同窓会
理　事	北里和彦	文学部同窓会
理　事	竹田正直	教育学部同窓会
理　事	上野昌美	経済学部同窓会
理　事	出村　誠	理学部同窓会
理　事	畠山鎮次	医学部同窓会
理　事	村井清彦	歯学部同窓会
理　事	三浦敏明	薬学部同窓会
理　事	大塚俊明	工学部同窓会
理　事	松井博和	札幌農学同窓会
理　事	堀内基広	獣医学部同窓会
理　事	長沼昭夫	水産学部同窓会
理　事	三上　隆	ほっかいどう同窓会
理　事	樋口達夫	東京同窓会
理　事	石澤　登	関西同窓会
理　事	安倍宣昭	宮城県同窓会
監　事	髙野一夫	
監　事	遠藤昭一	

（敬称略）

北海道大学校友会エルム



基礎同窓会

（1）学部・研究科同窓会（全18会）
（2）学生寮同窓会（全1会）
（3）国内地区同窓会（全26会）
（4）海外地区同窓会（全16会）

■校友会エルムホームページ　www.alumni-hokudai.jp

（広報委員会）

校友会エルムについて

学部や地域の各同窓会の一層の発展と横断的な連携関係を構築するために、２００４年４月「北海道大学連合同窓会」が発足し、さらにその体制に大学の教職員、在学生・院生なども加えた「北海道大学校友会エルム」が２０１６年６月１日に誕生しました。

これにより北大の全ての関係者で構成する、新たな全学的かつ国際的な組織が生まれ、世界トップレベルの大学を実現・支援に向けて、会員間のコミュニケーション連携と大学への支援体制の強化が図られました。

校友会エルムは、基礎同窓会に所属している卒業生、ならびに現役学生、教職員、現役学生の保護者、元職員で構成され、図のような体制で運営されています。

基礎同窓会とは、学部等同窓会や東京同窓会のような地区同窓会など計61（令和元年７月現在）の同窓会から組織され、基礎同窓会の会員の方は、「校友会エルム」の正会員の資格を有しています。ホームページもぜひご覧ください。

〔学部・研究科同窓会〕
文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、農学部、獣医学部、水産学部の各学部同窓会のほか、国際広報メディア観光学院同窓会、公共政策大学院同窓会などの18の同窓会組織。

〔国内地区同窓会〕
東京同窓会、関西同窓会など各地域で同窓会活動を行っている26の同窓会組織。

校友会エルム
新会長挨拶

北海道大学は世界に伍することが出来るか

北海道大学校友会エルム
会長 杉江和男

校友会エルムが3年前に発足して以来、東京同窓会を代表して理事を務めてきましたが、この度、石山喬氏の後を継ぎ会長をお引き受けすることになりました。

私は卒業して大日本インキ化学に勤めましたが、実を言うと同窓会や教育活動には全く関心が無く、10年前までは東京同窓会の存在さえ知りませんでした。同窓会に顔を出したきっかけは、DIC(株)社長の時、鈴木章先生のノーベル賞受賞記念講演会において、併催した討論会でパネリストの一員として登壇させて頂いたことであり、孫のような同窓生の何かの役に立ちたいという思いを持ったからです。

教育への関わりは、経済同友会でキャリア教育を実践する委員会委員長の要請を受け、社業の傍ら、1000人規模の講演から10人位のグループミーティングなどに5年間で100回近く出向き、その際に実業経験者が生徒学生に伝える言葉は説得力が違う、と実感したからでした。

それ以来、東京都、中教審、公益財団法人、NPO法人、そして小中高校から大学に至る教育機関において、教育政策の立案や人材育成の現場に関わることになりました。

何れも自分の意思で選択した仕事ではなかったのですが、会社よりはボランティア活動の方が、トップかリーダーかの違いがよく表れ、人間性と人格がよく見える経験でした。

北海道大学との関わりは、6年半前に新渡戸カレッジが開校した際、第一期フェローとして学生のリーダーシップ教育に携わったことが始まりでした。全国的に初めてと評された同窓生と大学の協働運営による教育の試みの中で、必然的に教員とは「リーダーシップとは何か？評価をどうするか？英語力で選抜された一部学生のみで良いのか？」という議論になりました。先ずはカレッジの役割と目標を明確にするために、教員とフェローから成る諮問委員会が設けられ、〝新渡戸カレッジ教育ビジョン〟を描き山口総長（当時）に答申しました。引き続き、「北海道大学の使命と教育像」の検討に進み、〝将来構想―リーダーシップ力育成で世界のハブ大学を目指す―〟を作成し名和総長に答申しました。

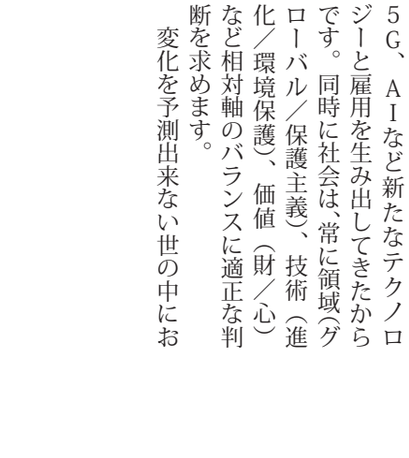
以上の関わりを通していつも私の頭にあった疑問と懸念は、(1)同窓会・校友会は誰のため、何のために有るか、そして(2)北海道大学は一地方大学で終わってしまう、でした。東京同窓会会長を引き受けた時の私の夢は、「若い卒業生が集う同窓会」であり、若手同窓生は、北大東京ジンパなど〝卒業生の出会いの場〟を見事に作ってくれました。彼（彼女）ら実行委員は、この実学で得た意識転換を力として、将来必ずリーダーとして社会で活躍すると信じています。

校友会エルムは、学部・地域などの同窓会に在学生と教職員を加えた会員で構成していますので、最大の役割は産学連携で相互に支援し合い高めることです。従って、「大学は家、会員は家族」のプラットフォームを作り、皆様方のご参加・ご支援を賜りたいと思います。

さて、北海道大学は、〝卓越した成果を創出し世界に伍する〟大学になれるのでしょうか。

近年、日本の各所でグローバル化、イノベーション、高度情報化・人工知能時代が叫ばれています。これは、世界の情報化において、秀でた能力を持ったイノベーターがGAFAに代表される新企業・新産業を創出し、それがまた5G、AIなど新たなテクノロジーと雇用を生み出してきたからです。同時に社会は、常に領域（グローバル／保護主義）、技術（進化／環境保護）、価値（財／心）など相対軸のバランスに適正な判断を求めます。

変化を予測出来ない世の中において、変化に対応した研究をするためには、社会の現場で働く同窓生の知恵を活用して、IPSのような新しいテクノロジーが創る価値を捉え、総合大学が持つ文系理系のチームワークにより多方面から研究し評価する仕組みが必要だと思います。その基礎となるのが校友会と協働するリーダーシップ教育ですし、1年次から専門性とリーダーシップを同時に育む教育が世界に示す北大の人材育成モデルです。



最後に残る課題は資金です。残念ながら法人化した北海道大学の自主財政確保は、世界を目指す他の大学と較べ脆弱過ぎると言わざるを得ません。文部科学省は、世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる国立大学法人を「指定国立大学法人」として指定し、指定された大学には、資産運用や出資対象範囲の拡大などの規制緩和を行っており、自ら資金を確保できない大学には国の優遇も得られない、というのが現実です。北海道大学が「指定国立大学法人」としての申請要件を満たすためには、1人でも多くの同窓生が、少額でも毎月寄付して頂くこと、また大学の研究を皆様の企業に活用できないかを是非ご検討して頂きたく、家族の一員としてお願いいたします。

「100円朝食」始めました!

校友会エルムでは、新入会員への支援事業として、4月8日（月）から5月17日（金）まで北大生協北部食堂で「100円朝食」を実施しました。

この事業は、本学入学に伴い、多くの新入生が親元を離れて一人暮らしを始めており、しっかりと朝食を摂ってもらうことで、健康維持と学習効果向上を図るため、今年度から開始したものです。

実施にあたっては、北大生協の全面的な協力のもと、メニュー開発から始め、栄養バランスに配慮し、個人の嗜好にも対応できるよう和食、洋食の選択、2日ごとのメニュー変更等を行いました。

開始日となった4月8日（月）には、開店前から100名近い新入生にお並びいただき、利用者からは、「道外から北大に入学して、初めての一人暮らしのため、100円でしっかりと朝食が食べられるのはすごく助かる。」との声も寄せられ、大変好評でした。今後、利用者の意見も取り入れながら内容を一層充実させていきたいと考えています。

「100円朝食」のポスター

和・洋食を選べる3種のメニュー（Aセット洋食）

「100円朝食」に並ぶ学生

Hokkaido University Frontier Foundation

北大フロンティア基金

平成18年に「北大フロンティア基金」が設立、以来、多くの方にご賛同いただいてきましたが、より一層の充実を図るため、平成30年より北大フロンティア基金の中に「北大みらい投資プログラム」が創設されました。

このプログラムでは、個人寄付がしやすくなり、寄付金の使途を寄付者が指定することができるなど、新たな機能が設けられています。ぜひ一度ホームページをご覧いただき、これからも母校ならびに学生たちへの支援の輪を広げていきましょう！

毎月1,000円の継続寄付

クレジットカード決済や口座振替で、継続寄付も利用できます。たとえば、毎月1000円の寄付金をクレジットカードから引き落とすことも可能になりました。

※お申し込み後、ホームページから内容の変更や解約が可能です。

寄付金の使途を指定できます！ 1〜4

寄付したお金の使いみちを「北大みらい投資プログラム」で取り組んでいる下記の4つのメニューから指定することができます。

1 給付型奨学金

経済的な援助として、北大への進学者や修学継続希望者に、返還の必要のない給付金を交付します。

2 海外留学・インターンシップなどの資金

海外協定校への派遣や海外語学研修への支援、短期留学・研修・国際インターンシップへの支援などに使うものです。

3 課外活動などへの支援資金

運動部・文科系サークルへの支援（個別指定可）、サークル会館、体育館、グランド整備のためなどに使うものです。

4 使途指定資金

特定の学部への支援、特定の研究分野への支援などに使うものです。

税制上の優遇措置

当プログラムへ寄付された方は、税制上の優遇措置「所得控除」が適応されます。

上記「1給付型奨学金」には「税額控除」も適用となります。

★最新情報はホームページをご覧ください。

［北大みらい投資で検索］ https://www.hokudai.ac.jp/fund/mirai.html

北大みらい投資 **検索**

創成研究機構 & 産学・地域協働推進機構

北キャンパスエリアに位置する 世界トップ100を目指す研究教育拠点

北海道大学の北キャンパスエリアは、研究開発から事業化までの一貫したシステムを、北海道の自治体・経済界・大学が一体となって構築し、大学等が持つ知的財産を活用することにより、新技術や新製品の開発、ベンチャー企業や新産業を創出し、北海道経済の活性化を図る研究・産業拠点を目指しています。今回は、北キャンパスエリアに所在する北海道大学の施設「創成研究機構」と「産学・地域協働推進機構」について、ご紹介したいと思います。

山本靖典
化学反応創成研究拠点
事務部門長
工学研究院 応用化学部門
准教授 博士(工学)

◎創成研究機構

外部資金を取り入れた研究戦略や企業との共同研究を推進

平成14年、新たな学問領域を創成するため創成科学研究機構を設置しました。その後の活発な産学連携活動の中で発展・改組した創成研究機構は、「先端的融合研究・学問の推進」「経済・地域社会との連携とその発展への寄与」「人材の育成」の3本の柱を全学的な観点で推進する北キャンパスに位置する拠点となりました。

北キャンパス

創成研究機構研究部は、大学の研究戦略に基づき獲得する競争的資金や、外部資金を主要な財源としたプロジェクト研究を進める戦略重点研究部門や企業等と連携し、その資金により構成する研究チームでプロジェクトが組まれ、大学の研究戦略に基づく研究、外部資金による研究、企業との共同研究等が行われています。

さらに北キャンパス内にある3つの研究棟（創成科学研究棟、北キャンパス総合研究棟3号館および6号館）には大小様々なレンタルラボスペース「オープンラボラトリー」が設置されており、ウェットタイプのラボ仕様、動物飼育・実験ができる施設など多彩な分野の研究開発が可能な環境が整っています。

平成28年には過去10年の間に北海道大学が培ってきた先端機器共用システム「オープンファシリティ」をさらに発展させ、機器分析受託機能と国際連携機能を併せ持つ「グローバルファシリティセンター」を設置しました。大型研究設備を創成研究機構に集約し、ここで大規模な融合研究プロジェクトを展開していく環境が整いつつあります。

部局の枠を超えた研究群と企業とが協働して既存の様々な研究助成を獲得すると共に、大型研究に発展させ「世界トップ100を目指す研究・教育拠点」を構築できる基盤を北キャンパスエリアに整えました。

創成科学研究棟

◎産学・地域協働推進機構

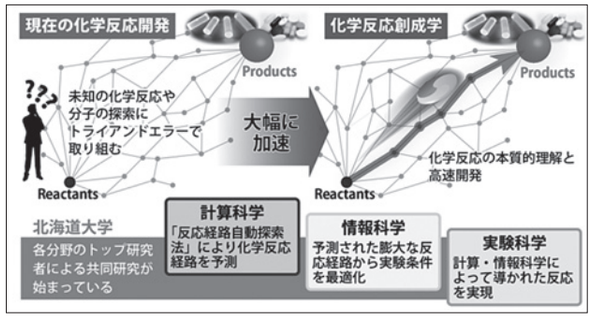
知的財産に係る支援サービス、ベンチャー起業・新産業の創出

平成15年10月に設置した知的財産本部を発展的に解消し、産学連携機能との融合を組織的に行なう知財・産学連携本部を平成19年10月に設置しました。さらに平成21年4月に改組し、産学連携本部として活動を行い、平成27年4月より、〝実学〟へのステージアップを推進するために「産学・地域協働推進機構」を発足しました。北海道大学の研究成果の社会実装に向けた産学協働及び地域の課題解決に向けた地域協働を推進するとともに、これらの産学・地域協働の推進に資する人材を育成し、我が国の産業等の発展及びイノベーションの創出に資することを目的とします。

本学が、教育研究に専念できる環境を生みだせるように、産学・地域協働推進機構 産学連携推進本部では知的財産に係る一連の支援サービスの提供を行います。さらに知的財産および産学連携の創出・保護にとどまらず、知的財産を産学官連携の核として、ベンチャー起業、新産業の創出、イノベーション促進に貢献するとともに、研究者への適正な評価と利益還元を行っています。

さらに社会から得られる新たな知見を大学の基礎研究に取り込み、新しい技術を創成し、知的財産を核とした知的創造サイクルの実現を目指します。平成30年度には、産学連携データベースを構築し、「注目シーズ」なども探すことができるなど、多様な情報を発信しています。

〈化学反応創成研究拠点概要〉



また、同機構 フード&メディカルイノベーション（ＦＭＩ）推進本部は、食と健康と医療の連携による新たな産業や雇用を創出するための革新的な研究開発事業を実施するため、本学や本学以外の研究機関、及び企業や国等が参画する産学官連携拠点であるフード&メディカルイノベーション国際拠点における研究開発事業の推進及び支援を行っています。

◎化学反応創成研究拠点（ＩＣＲｅＤＤ）

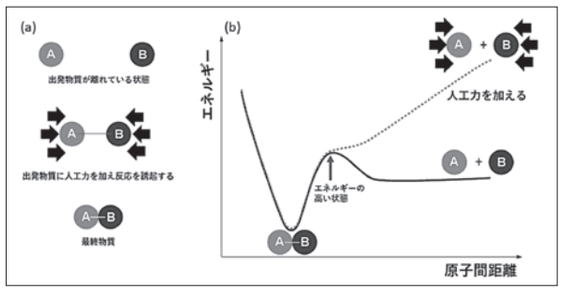
優れた研究環境と世界トップレベルの研究水準を目指す

最後になりますが、昨年10月、我が国の新たな世界トップレベル研究拠点プログラム（ＷＰＩ）に採択され、優れた研究環境と世界トップレベルの研究水準を目指して「化学反応創成研究拠点（ＩＣＲｅＤＤ）」を創成研究機構内に設置し、新薬や材料の開発に繋がる新しい化学反応を合理的に設計し、効率的に発見する研究を始めています。

拠点長の前田理教授は、コンピュータ上で仮想的な力で操作し、疑似的に化学反応を引き起こすことで、反応経路を自動的に見つけ出すことを可能としました。この技術を中核にＩＣＲｅＤＤでは、計算科学・情報科学・実験科学の三つの学問分野を融合させることにより、人類が未来を生き抜く上で必要不可欠な「化学反応」を合理的に設計し制御することを目指しています。

コンピュータを用いた最新の化学反応のシミュレーション技術（量子化学計算）に基づく化学反応の本質の解明と、機械学習やＡＩといった情報科学的手法による化学反応の持つ複雑さに対する理解、実験的な実証とフィードバックを通じて、従前からの実験的なトライアンドエラーに立脚した反応開発では解決に時間を要するエネルギーや資源の枯渇、汚染といった大きな課題を解決するための新しい化学反応の設計（デザイン）と発見（ディスカバリー）を高速に行います。加えて、ＩＣＲｅＤＤでは国内や海外に連携する研究拠点を見つけて、そこの若手研究者や学生を３ヶ月程度滞在させ、共同研究を通じて新しい化学反応を開発する手法を習得するＭＡＮＡＢＩＹＡ（学び舎）システムを設置します。

〈化学反応シミュレーション技術イメージ〉



共同研究の後、それぞれの研究者が、将来に渡って習得した技術を使っていく頭脳循環型社会を目指します。そして10年後には、世界中のトップレベルの研究者から若い研究者までの多くの研究者が所属する巨大な研究者ネットワークが完成し、新しい学問分野である化学反応創成学のさらなる発展を支えます。なお、ＩＣＲｅＤＤ内の共同研究や知的財産の取扱いについては、産学・地域協働推進機構と連携して進めることとなります。

◇

このように北キャンパスエリアでは、学内における研究ポテンシャルを活用して連携・連動することにより、ダイナミックな戦略的研究を創出し、国際的に卓越した融合科学研究を行う拠点づくりを進めています。

エルム談話室

平成31年2月から令和元年7月までのエルム談話室の講演内容です。なお、都合により6月の講演はありませんでした。

エルム談話室は毎月第一金曜日午後2時からサピアタワー10階の北大東京オフィスで行われます。同窓会のメールマガジンでもお知らせしていますので、気軽にお越しください。(参加費500円)

清水慧（S43工・衛生）

『第830回』
「終光ファイバーケーブルの開発から通信システムのEMC（電磁両立）研究へ」

日時：平成31年2月8日14時～15時30分　18人出席（講師含む）

講演者：徳田正満（工学部電子工学科昭和42年卒）

略歴：昭和44年3月北大電子工学科修士課程修了、昭和44年4月日本電信電話公社入社、電気通信研究所に配属、58年9月北海道大学より工学博士、62年7月NTT通信総合研究所通信EMC研究グループリーダー、平成8年1月九州工業大学電気工学科教授、平成22年6月東京大学大学院新領域創成科学研究所先端エネルギー工学専攻客員共同研究員

講演内容：

◎光ファイバーケーブルの開発

光ファイバー（以下光F）に関するノーベル賞はKao氏（米国）が2009年に物理学賞で受賞しているが、石英系光Fの不純物を20dB／km以下にすると通信用として適用できることを1960年に示唆していた。後に米国のコーニング社のKapron氏等が前述の数値以下を達成、AT&T社の林氏等が半導体レーザーの室温連続発振を達成。1970年から光ファイバ通信の研究が世界中で開始、1974年に光Fケーブルの実用化に関する研究グループが発足、

徳田正満氏

1982年から始まった札幌～福岡間の日本縦貫ルートに大容量（400MbPs）光ケーブル伝送方式を採用。その後、光F増幅器（中沢正隆氏）、多芯光コネクタ（佐竹俊明氏）などが開発される。

◎光ケーブルから通信システムのEMCへ

1986年頃、通信と放送を提供する複合システムの実用化を目指す。しかし、通信と放送の融合はすぐには受け入れられないと判断し、EMC（ほかに影響を及ぼさず他から影響されない機器）の研究に転身、通信網総合研究所の設立を機会にEMCの研究部隊を同研究所に発足させグループリーダーに就任。

1987年通信EMC連絡会を設立し、NTT全体のEMC問題を検討できる体制を構築。光FとEMCという全く異なる境界領域の研究を開拓（桑原伸夫氏）。

◎EMC関連国際標準化・学会活動

2006年～2011年IEC／TC77、（EMC規格）国際議長、1991年～1993年電気情報通信学会環境電磁工学専門委員会委員長、1994年～1996年IEEE・EMC学会東京支部長2007年IEEEフェロー。

自分自身で新しい分野に挑戦してほしい。新しい分野に挑戦している上司・指導者もしくは部下・学生をサポートしてほしい。

『第831回』
「タイに植林して25年」

日時：平成31年3月1日14時～15時30分

講演者：平田更一（昭和44年理学部生物学科卒）

略歴：昭和44年4月三菱レイヨン（現三菱ケミカルホールディング）入社、平成13年3月同社退社

講演内容：

◎リモートセンシングの実践

1980年代、地球環境問題が緊急の課題と言われ、地球規模の緑化の必要性が強調された。リモートセンシングを勉強中にレスター・ブラウンの「地球白書」の書に触れ、地球全体の緑化の必要性を感じた講演者は、1991年から「熱帯雨林を再生する運動」（Re-Green Movement:RGM）に参加、タイ国の植林活動に参加している。タイは、1960年代の林地率が60％以上を占めていたが、人口増による耕作地の拡大、工業化・開発の進行による森林の減少（焼畑の増加）、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー等からの難民流入等々の要因により、1990年代後半には森林面積の約25％が大幅に減少した国である。

平田更一氏

◎宮脇方式の植栽

RGMを進めるタイ国王室森林局(Royal Forest Department:RFD)は、横浜国立大学宮脇研究室と協力し、宮脇方式の植栽を進めることにした。宮脇方式の植栽とは、①潜在自然種で構成すること、②多様な種を混植すること、③密度高く植えること、を特色とする。

◎植栽とは「木を切らないこと」

植栽は、⑴1991年～2000年（ラチャブリー県）、⑵2001年～2010年（ナンド県）、⑶2011年～現在（チェンマイ県）と継続してきた。途中、2003年にはシリトーン王女のプロジェクトに認められ、今に至っている。タイ国の森林は、国全体としての森林伐採禁止令や緑化運動の活性化などで2000年代に入って微増の状況を呈している。RGMの植栽は、「木を切らないこと」を基本としている。この考え方が、次第に根付いたものと思われる。

『第832回』
「バードの民俗・文化史的足跡を活用した町興し」

日時：平成31年4月5日14時～15時30分

講演者：渡部耕司（工学部合成化学工学科昭和39年卒）

略歴：昭和41年3月北大大学院工学科研究科修士課程修了、同年4月千代田化工建設㈱入社、平成11年3月同社退社、同12年6月㈶石炭エネルギー利用技術総合センター主任研究員、同13年9月㈶エネルギー総合工学研究所主管研究員、同16年9月～28年9月千代田ユーテック（株）主任研究員

講演内容：

明治初期、世界的に著名な旅行家イザベラ・バードが東北・北海道を旅し著した『日本奥地紀行』。そこに描写される越後街道の難所「車峠」の茶屋で連泊した折のバードの民俗・文化史的足跡を地域活性化ツールとして観光資源化し、過疎化に悩む福島県西会津町の町興しに活用した活動を紹介した。

渡部耕司氏

◎バード略述

1831年英国国教会牧師の長女として出生。病弱のため、医師の薦めで23歳の時北米を旅し、健康回復を実感、長旅の魅力を知る。これを契機に、亡くなる72歳までの半世紀を南米、南極を除く四大陸の辺境を旅し、世評に高い幾つもの旅行記を著した。日本には1878年5月に渡来し、7カ月間各地を旅し、名著『日本奥地紀行』を著した。これには三種類の原著があり、それらを元本として数多くの書籍が出版されている。最近はマンガ本も出版され、ここ2～3年若者を巻き込んだバードブームの兆しがある。

◎バード連泊の茶屋の一考察

バードは、東京を出発し日光から下野街道を北上、越後街道九十九折れを登る。6月29日夜に車峠の茶屋に到達して連泊し、眺望がすばらしいと書いている。『西会津町史』では宿泊場所は、参勤交代の休憩所に使用された峠の旅籠となっているが、講演者はバードの描写記述内容の検証から、その宿ではなく街道を挟んだ端向いの宿ではないかと考えている。

◎町興し

西会津町には、バードにまつわる歴史的由来の事象が数多い。また、阿賀川銚子の口や旧柴崎橋（廃橋）等のほか、バードが見た大杉の2代目が植えられている等の観光資源もある。講演者は、是非ともこれらを基にして町興しをすべきではないかと考え、早くからバード連泊の茶屋跡地の公園化や景観の復元、バードマラソンや青空市場など提案してきた。平成15年になり、ようやく予算化され、茶屋跡地に観光案内板が立てられるようになった。

『第833回』
「北海道遺産（2018年11月1日選定）200万人都市札幌の礎を築いた大友亀太郎の事績と大友堀遺構」

日時：令和元年5月10日14時～16時　16人出席（講師含む）

講演者：井上三男（昭和41年3月大学院工学科研究科修士課程修了）

略歴：昭和42年4月株式会社測機舎（現ソキアトプコン）入社、光波距離計（トータルステーション）の開発、測量電子機器の業界のサービス体制、測量機器工業会関連（日本測量機器検定所の開設に関与）の業務などに従事。平成12年4月1日ソキアスクール校長（企業内起業）、日本測量協会会員、日本写真測量学会会員、足柄の歴史再発見クラブ会員、小田原・足柄を主題にした学生の卒論に学ぶ会代表、かすみ堤を守る会

代表

講演内容：

◎蝦夷を知る

本日の主人公である大友亀太郎は19世紀中頃、「北海道」を命名した松浦武四郎、「北海道開拓の父」と呼ばれる島義勇と同時代に活躍した人物である。

◎探検家の足跡

その頃、探検家によって北海道の地図が作成されている。1809年の近藤重蔵の地図にはクナシリ、エトロフまで記載され、1821年に伊能忠敬の南岸の測量の後を引き継いだ間宮林蔵の地図には、南岸の未測地を含めほぼ全域が網羅されている。

◎大友亀太郎

亀太郎は小田原の生まれで二宮尊徳に仕えて、農地開墾や築堤、道路建設などに従事した。

江戸幕府は蝦夷地内陸部の開拓が必要であるとして、二宮尊徳一門に協力を要請し、尊徳は門下生である大友亀太郎を指名した。亀太郎は箱館に渡り、開墾場取り扱いの辞令を受けて木古内村、大野村（開拓農場）を開設した。両村での業績を評価され1866年に蝦夷地開墾掛を命ぜられ、同年4月23日に札幌入りし御手作場（おてさくば）として開設

井上三男氏

すべき地をサッポロと決定した。亀太郎は田畑の開墾に先立って用水路（大友堀、現創成川の前身）や道路、橋梁等の基盤整備を行い居住者に安心感を与え、報徳思想に基づく仕法の実践者であった。明治3年北海道を去る。新政府の方針と合い入れなかったらしい。

◎二宮尊徳の土木技術

尊徳は農政家・思想家として知られているが、土木技術でも優れた業績を残している。神奈川県小田原市にある報徳堀は、湿田の下の冷水を取り除くための排水路で尊徳が掘ったものである。同市の鬼柳や、南足柄市の小芝原、三丁田などにも掘られている。

『第834回』

「100歳まで健康に生きる」

日時：令和元年7月5日14時～15時　9人出席（講師含む）

講演者：利府俊祐（昭和52年工学部原子工学科卒）

略歴：昭和54年3月北大工学部原子力工学科修士課程修了、昭和54年4月株式会社東芝入社、平成20年6月東芝退社、同年11月GE Healthcare（米国）社入社、平成24年Samsung入社、平成28年6月Samsung退社、同年10月株式会社コノシェアを設立CEO、平成31年1月株式会社アミン顧問

講演内容：

◎平均寿命と健康寿命

平成28年のデータによると、平均寿命は女子が87・2歳、男子が81歳であるが、この間女子では後半の12・4年、男子では8・8年が寝たきりとなっている。平均寿命は伸びたが寝たきりの年数が長く、百寿者は6万人であるが9割は寝たきりである。

◎長生きするにはコツがありそう

世界の長寿村の調査によれば、自家製や地元産の食品を食べ植物性食品を多く食べ、肉を摂取する頻度は非常に少なく、砂糖、農薬、食品添加物の摂取量が非常に少ない。腹八分目で平均8時間以上の睡眠をとり、体を動かし、社会的なつながりを保ち、自然と触れ合っていること等を指摘している。

◎信じていたことと異なる事実

LDLコレステロール値が（以下LDLcho）70mg／dℓ以下のグループでは、血液がんのリスクは15倍以上、発熱や敗血症といった感染のリスクが5・3倍となっている。LDLcho値を下げることの根拠は非常に怪しい。中性脂肪値とLDLcho値の比率（1・3以下が推奨）が心血管疾患のリスクを著している。糖質制限で中性脂肪値は低下する。食事での脂質摂取量は心血管疾患のリスクとは関連していない（油も卵も大丈夫）。ただし、糖質と一緒に脂質を摂ると、食べた脂肪がそのまま体脂肪になる（アイスクリームはやめた方がいい）。糖質制限では、中性脂肪値が大きく低下し、非アルコール性脂肪肝が劇的に改善する。最も危険なのは、高中性脂肪、低HDLchoである。

利府俊祐氏

◎血圧に関する異なる事実

血圧コントロールの効果を調べた結果、コントロールできているグループは、70歳以上で全原因死リスクが26％高くなり、80歳以上で同リスクが40％上昇した。

◎まとめ

・薬で老化は治らない
・高血圧とコレステロールは気にしない。
・糖質と炭水化物は減らす
・発酵食品を食べる
・できるだけ歩く
・できれば筋トレをする（しっかりとしたトレーナーについて）

未来人です。
少し先の未来から
来ました。

あなたが想像する未来では、
車が空を飛んでいますか。
ロボットがお世話してくれていますか。
ところで医療の未来はどうですか。
オーダーメイドの薬。
手のひらでわかる健康診断。
病気の事前予測。
バイオの力があれば、実現できるかも。
詳しくは未来で。

バイオでしか、
行けない未来がある。

すべての革新は患者さんのために
CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュ グループ

創造で、想像を超える。

東京2020組織委員会に出向
大会成功というゴールを目指して

「KCCのVGMにVOPとTEVOP（てぃーぼっぷ）の連携状況やVUAの進捗を確認しよう」、「ネットキャパシティについては、TKT（ちけっと）・TRA（とら）・VEM（べむ）で連携して、次回CoCom（ここむ）でIOCに報告しよう」などと話しかけられたらきっと面食らってしまうでしょうね。これらの意味は原稿の最後をご覧ください。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
企画財務局財務部財務課
遠藤　健
（H9・法卒）

「近代五種W杯ファイナル東京大会」で誘導・ご案内を担当

「北大手話サークル」と「地球環境研究会（サークル）」に所属。学部では刑事訴訟法の能勢弘之教授（故人）、刑事法の白取祐司教授（現神奈川大学）、民事法の松久三四彦教授（現北海学園大学）のゼミに在籍。

企画財務局財務部は、予算計画の策定、予算の執行管理、収入管理、税務対応、保険企画、会計事務などを担い、約70人が所属しています。私自身は予算マネージャーという肩書で、会場マネジメント廻りの予算計画の策定・調整や執行管理をお預かりしています。

オリンピック・パラリンピックは、冬季・夏期と2年毎にさまざまな国で行われます。大会ごとに業務内容や業務水準が著しく変わってしまうと、大会運営上、さまざまな影響が生じてしまいますので、あらかじめ大会運営に必要となる機能が52の分類で規定されています。

たとえば、競技運営はもちろんのこと、セレモニー・聖火リレー・放送サービス・人材管理・リスク管理・宿泊・医療・ドーピングコントロール・飲食・ロジスティックス・セキュリティ・テクノロジー・輸送・会場整備・エネルギー・選手村マネジメント・チケッティング等々。組織委員会の業務がとても広範な分野に亘ることをご理解いただけると思います。

◆プロフェッショナルな仲間たちとの出会い

組織委員会の職員は7月1日現在、約3000人。大会時には約8000人にまで増える見込にあるほか、委託事業者やボランティアなど、多くの方々のお力をお借りして大会運営が行われます。役職員の中には、組織委員会が直接雇用する人材もいらっしゃいますが、多くは国・東京都・地方公共団体・民間企業等からの出向者で占められています。

組織委員会の職員は、長野大会はじめ過去の大会運営にかかわった経験のある方々や、スポーツ競技大会や各種イベント運営に従事した経験のある方々を含め、さまざまな分野のプロフェッショナル級かつモチベーションの高い人材が集まっていると日々実感します。

たとえば予算マネージャーは14人配置され、大会の全ての業務分野を網羅していますが、いずれもプロジェクトマネジメントの知見・経験をもった人材が配置され、日々の業務にあたっています。

◆本大会に向けた実践フェーズへの移行

大会1年前となり、どの部署でも、計画フェーズから実践フェーズへの移行が進みつつあります。6月27日から30日には、本大会の成功に向け、競技運営および大会運営の能力を高めることを目的として行う「テストイベント」として、今年度初の大会となる「近代五種ワールドカップファイナル東京大会」が開催され、私も競技運営ボランティアとして参加させていただきました。今後、来年5月までの間、競技団体や会場所有者の多大なご協力をいただきながら、テストイベントが開催されます。このような実践を経験し、本大会までに修正・検討すべき課題を洗い出し、確実な本大会の運営を目指していくのです。

会場マネジメント部門との打ち合わせ

昨年12月、組織委員会では「組織委員会予算V3（バージョン3）」を公表し、私も予算策定業務の一端を担いました。これによると、組織委員会予算はハード（会場整備）が1100億円、ソフト（大会運営）が4900億円の計6000億円。さらに東京都や国にご負担いただく経費を含め、大会経費は1兆3500億円となっています。

私が予算の計画・執行管理を担当する会場マネジメント（VEM：VEnue Management）部門でも、日々、さまざまな実務的課題が生じ、その中には支出を伴う課題も少なくありません。組織委員会の負担分は、チケット売上やスポンサー収入といった財源で賄われますが、東京都や国の負担分は公費です。そのことを強く意識し、支出の内容、重要性や緊急度を判断しながら、業務を進めています。

◆大会成功に向けて各自が自己ベストを

6月20日、オリンピック競技大会観戦チケット第1次抽選販売の結果発表がありました。パラリンピック競技大会の観戦チケットを含め、今後も観戦チケットの抽選販売や公式リセールサービスなど、チケット購入の機会が予定されています。ホームページやメール等のご案内や各種報道をご確認ください。

組織委員会勤務の魅力は、通常お目にかかれない分野のプロフェッショナルと一緒に、時に激しい喧々諤々の議論を戦わせつつも、大会の成功という共通かつ唯一のゴールに向かって進んでいけることです。このやりがいを胸に、「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」という3つの基本コンセプトのもと、史上最もイノベーティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会をお届けできるよう、全力で準備を進めてまいります。

日本国内で、再び生で見られる機会が訪れるのか、誰にもわからないオリンピック・パラリンピック競技大会。競技会場や聖火周辺エリアにぜひお運びいただき、この大会ならではの雰囲気を体感いただきたく存じます。

組織委員会の仲間と餅つき登山（景信山）
（筆者は左から2人目）

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

（冒頭の解説）
「霞が関カンツリー倶楽部のベニューゼネラルマネージャーに、会場運営計画とテストイベント運営計画の連携や会場使用協定の進捗を確認しよう」
「チケット販売数については、チケット担当部門、輸送担当部門、会場マネジメント担当部門で連携して、次回のIOC調整委員会にて国際オリンピック委員会（IOC）に報告しよう」

スペシャルオリンピックス・北海道

2020年冬季ナショナルゲームをサポートしています。

渡辺克己
（1985年文Ⅲ入学）

私は、7年ほど前からおもに東京地区での「スペシャルオリンピックス（SO）」の活動にボランティアとして参加し、活動資金集めのためのファンドレイジングの委員、様々なイベントでの司会、アスリートのプレゼントレーニングなどを務めてきました。現在でも札幌FM局で番組パーソナリティや、道内企業のコマーシャルのナレーションを務めていることもあり、北海道での大会を応援しています。

2015年には、ロスアンゼルスで開催された世界大会を訪問しましたが、空港や街中には巨大なバナーが掲げられ、アスリート、ボランティア、観客など50万人を超える人びとの参加があり、規模の大きさや街を上げての歓迎ぶりに驚いたものです。その様子に感銘を受けると共に、日本でのSOの認知度はまだまだこれからだと感じた瞬間でもありました。

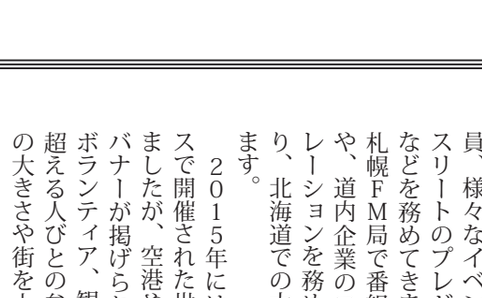
来年の北海道での開催を機に、一人でも多くの方にスペシャルオリンピックスの活動を知って頂けましたら幸いです。

©スペシャルオリンピックス日本

©スペシャルオリンピックス日本

◆もう一つのオリンピック

いよいよ来年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、もう一つのオリンピックをご存知でしょうか？それは、知的障がいのある人が参加するSOです。SOは、知的障がいのある人の社会的自立を目指している国際的なスポーツ組織です。4年ごとに開催される夏季・冬季の世界大会をはじめ、世界170以上の国・地域で日常的なスポーツトレーニングのプログラムとその発表の場である競技会が、年間を通じて提供されています。プログラム、競技会のすべてが「スペシャルオリンピック」だという考えから、複数形の〈S〉がついて、「スペシャルオリンピックス」と言う名称になっています。なお、SOでは知的障がいのある方のことを「アスリート」と呼んでいます。



©スペシャルオリンピックス日本

スペシャルオリンピックスの競技の様子（上）と表彰式

◆起源はケネディ家

SOの始まりは1962年。故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障がいのある人たちのために、スポーツを通じて社会参加を応援するSOを設立しました。

そして1968年7月、シカゴで第1回の国際大会が開催され、12月に非営利組織「スペシャルオリンピックス」の国際本部がワシントンD.C.に誕生しました。1988年には、IOC国際オリンピック委員会と「オリンピック」の名称使用や相互の活動を認め合う議定書を締結しています。

日本では1994年、国内組織「スペシャルオリンピックス日本（SON）」が設立され、現在では47都道府県で地区組織が日常的な活動を行っています。

◆SOが大切にしていること

SOの最も大切な活動は、各地で行われる日常的なスポーツトレーニング・プログラムです。SOは、知的障がいのある人たちの成長にスポーツが大きなプラスになり、スポーツを通じて知的障がいのある人たちと共に活動することは、地域社会にとっても大きなプラスになると考えています。

近年は、知的障がいのある人とない人でチームを組んで、練習や試合を行い、スポーツを通じてお互いに相手の個性を理解し合い、支え合う関係を築いていくユニファイドスポーツに取組んでいます。障がいの有無を越えて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することにより、お互いの理解を深めて友情を育むことを目指しており、社会的インクルージョンの実現を促進することを目標としています。2018年にはB.LEAGUEの社会的責任イニシアティブである「B.LEAGUE Hope」と、ユニファイドスポーツを通じたインクルージョン社会の実現を目指しパートナーシップを締結しました。

©スペシャルオリンピックス日本

◆SOの競技会精神

「スペシャルオリンピックスで大切なものは、最も強い体や、目を見晴らせるような記録ではない。大切なものは、各個人のあらゆる障害に負けない精神である。この精神なくしては勝利のメダルは意味を失う。しかし、その気持ちがあれば、決して敗北はない」と、創設者であるユニス・ケネディ・シュライバーは語っています。

SOの競技会では、アスリートの可能性が最大限に発揮できるよう、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け〈ディビジョニング〉を行います。このディビジョニングによって、誰もが平等に競い合うチャンスが与えられ、自分の現時点の能力を十分に発揮し、一番輝く機会を得られると考えています。

さらに、SOの競技会には予選落ちはありません。予選はディビジョニングであり、競技会に出場したアスリートは全員が決勝に進み、全員が表彰台に立ちます。表彰台の上では、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられ表彰されます。競技場に立ち最後まで競技をやり終えたことに対して、一人一人にかわらぬ拍手が贈られます。全てのアスリートに勝利のチャンスが与えられているのです。

◆来冬、ナショナルゲームが北海道に

スペシャルオリンピックス日本（SON）では、日頃のトレーニングの成果を発表する場として、各都道府県の地区選手団が参加する夏季・冬季のナショナルゲーム（全国大会）を4年に1度、開催しています。その冬季大会が、来年2月21日から23日まで北海道で実施されます。「第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」の開催場所は札幌市、江別市、岩見沢市を予定。アルペンスキー、スノーボード、フロアホッケーなど7競技が行われます。7月7日には大会のシンボルとなる大会火を北海道神宮より拝受する「採火式」が行われました。

そして開催都市では、来年2月14日までに「ふるさと寄附金」を通じて納税された資金が、大会の開催費用として支援されるようになっていますので、ご協力をよろしくお願いします。

わたなべかつみ（1985年教養部文Ⅲ系入学・恵迪寮入寮）ナレーター・俳優、発声・プレゼンコーチ、番組ディレクター（ニュース・ドキュメンタリー番組）、CM・ディズニー映画予告などのナレーター、ラジオ番組パーソナリティ、Mac World EXPOアップルブースメインステージプレゼンター、舞台俳優など、自ら表現者として活動する一方、中学高校大学などでの表現教育、新入社員からエグゼクティブ・政治家などのパブリックスピーキング、プレゼンテーションのパフォーマンスコーチ、コンテンツづくりのコンサルティングも行う。想いと情報の伝達に、一気通貫で関わっている。ヤフーアカデミア特別講師。湘北短期大学特別講師。玉川大学文学部特別講師。NHKラジオPD（2019年度現在）

北海道を盛り上げたい！
企業版ふるさと納税で北海道を創生

北海道総合政策部地域創生局地域戦略課
宮腰　和明（H17・理数）

◆寄り道して北大入学

父が工学部で教鞭を執っていたため、小さな頃から親に連れられて北大祭に参加したり、学食でラーメンを食べたりしていました。子どもながらに「大きくなったら、北海道大学に進学したい」と思っていたのですが、18歳にもなると小さな頃の決意は綺麗さっぱり忘れてしまい、都会に憧れて横浜の大学に進学しました。

初めての都会に浮かれていた私は、2年間遊びに遊びまくってましたが、ある時、ふと「このままじゃ自分の人生ダメになる」と思い、横浜の大学を中退。数学が好きだったので理転を決意し、1年間の浪人の末、北海道大学の理学部数学科に再入学。そして、今は北海道職員の事務職として勤務しています。

そんな私ですが、今回、道職員の仕事や私的な活動などをご紹介したく、「職場奮戦記」に寄稿させていただきました。

観光列車『ながまれ号』（左端が筆者）

◆道職員としての足跡

平成19年4月に北海道庁に入庁し、渡島総合振興局（当時は渡島支庁）の課税課に配属になりました。窓口で道民の皆さまと直接お会いする中で、正直色々な失敗もしましたが、初任地で道の重要な収入源である税金に関わる仕事に携わることができたのは、とても幸運だったと思います。

入庁4年目の平成22年度には、国土交通省鉄道局に派遣され、日本の鉄道システム・技術を海外に展開する国際課に配属となり、カリフォルニア高速鉄道などの業務に携わりました。上司や同僚の方に恵まれ、現地視察する機会もいただくなど貴重な経験をさせていただきました。中でも当時のカリフォルニア州知事であるシュワルツェネッガー氏にお会いできたのは、忘れられない出来事です。

国土交通省派遣から戻ってきてから4年間は、北海道の交通施策を所管する交通企画課で勤務しました。北海道新幹線が開業する前だったので、北海道新幹線の開業に向けた機運醸成を図るシンポジウムの開催や二次交通の整備、並行在来線「道南いさりび鉄道株式会社」の設立に向けた業務を担当しました。

◆鉄道会社の社員として

道南いさりび鉄道株式会社の設立に携わった後、平成28年度から2年間、実際に会社に出向し、鉄道会社の社員として勤務する機会をいただきました。当時の会社は、函館市などの自治体職員のほかに、JR北海道やJR貨物からの出向者がいましたが、「地域のためにできることからやっていこう」を合い言葉に、観光列車の『ながまれ号』の運行をはじめ、「いさりび鉄道だからできること」を行いました。観光列車が運行する時は、本社前に集まって社員皆で手を振ったり、クリスマスやハロウィンの時期には、百円均一の商品でラッピングを行うなど、自治体職員もJR社員も関係なく一体となって勤務できたことは、とても良い思い出です。

また、「日常」の公共交通機関を維持することがどんなに大変なことなのかも勉強になりました。夏に花火大会があれば、事故防止のために無人駅で警備したり、冬場に大雪が降れば、夜中であってもスコップを持って集まり、ポイントと呼ばれる線路の分岐部分を除雪したりと、公務員として普通に勤務していたら、経験することがなかった様々なことに気づく機会をいただいたと思います。

◆地方創生と企業版ふるさと納税

平成30年度からは地域戦略課という部署に異動し、地方創生や移住関連の業務を担当しています。その中で、私が担当しているのは地方創生応援税制いわゆる『企業版ふるさと納税』という制度です。この制度は、北海道の地方創生の事業を応援したいという道外企業の皆さまから、寄附を通じて北海道の取組を応援していただくものであり、寄附をいただいた企業の皆さまには税制上の優遇措置が寄附額の6割受けられるというものです（つまり、企業の皆さまの実質的な負担は4割となります）。

『ふるさと納税』というと、地域の農産品や魚介類などの豪華な返礼品がある『個人版ふるさと納税』を思い浮かべると思います。『企業版ふるさと納税』では、返礼品のような経済的な見返り（例えば、寄附の見返りに補助金をもらうなど）は禁止されています。

これまで「北海道150年事業」や「赤れんが庁舎改修事業」など、既に道が立案・実施している事業に寄附をいただくレディ・メイド型のプロジェクトのほか、企業の皆さまから企業価値やCSRの方向性などを伺い、一緒に事業を立案するオーダー・メイド型のプロジェクトも実施しております。平成30年度末時点で36件・約2千万円の寄附の申出をいただきました。

特に、本道初の事例である「産業遺産（炭・鉄・港）の保全・活用による交流人口の拡大プロジェクト」では、九州の株式会社島津興業から寄附をいただき、薩摩藩士が北海道の近代化に大きく関わっていた歴史的背景などを掘り下げるとともに、産業遺産の重要性を道内外に発信しました。日本の近代化を支えた空知地域の「石炭」、室蘭市の「鉄鋼」、小樽市の「港湾」、そしてその三都を結んだ「鉄道」を「炭・鉄・港」というストーリーで活動した結果、本年5月には、「本邦国策を北海道に観よ！北の産業革命『炭鉄港』」として日本遺産に認定されるなど、企業版ふるさと納税を活用した事業が着実な成果を出しています。

企業版ふるさと納税を担当して1年以上経ちました。「社会貢献・CSR」や「北海道とのパートナーシップの構築」といった説明で新たにご寄附をいただくことの難しさをとても実感している一方、「北海道のために何かお手伝いしたい」という企業の皆さまからの強い思いも感じております。これからも企業の皆さまの思いを北海道の『チカラ』に変えることが出来るよう、一生懸命頑張っていきたいと思います。

「SIM2030 in 北海道」体験会で参加者との記念撮影

「企業版ふるさと納税」及び「SIM2030」に興味のある方はこちらまで!!
北海道総合政策部地域創生局地域戦略課　電話:011-204-5089

◆公共政策大学院と連携～SIM2030 in北海道～

道職員として地方創生を担当していますが、プライベートでも北大公共政策大学院の先生方と連携して、道職員幹部を招いた講演会やイベントを企画しています。昨年度は、熊本県で誕生した対話型自治体運営シミュレーションゲーム「SIM2030」の北海道版を作成し、公共政策大学院や道職員の若手有志と体験会を開催しました。シナリオを担当した私は、無事に終わるか終始緊張していましたが、当日は学生や社会人が全道から集まり、当初24名の予定が35名もの方に参加いただきました！今年度は公共政策大学院の公式イベントとして8月3日の開催に向け、今（執筆時）はシナリオの改訂作業に追われています。道職員の先輩として、若手職員たちに「北海道を盛り上げていこう」という姿勢を見せるためにも、これからも精一杯取り組んでいきたいです。

観光列車『ながまれ号』車内
「ずーしーほっきー」と記念撮影

パリでの生活を通して グローバルについて思う

全日本空輸 パリ支店
前田 和男
（H2・法卒）

フランスに赴任して早4年が過ぎ、5年目を迎えております。私は1990年に本学を卒業し、航空会社に入社以来、26年目にして初めて海外事業所へ赴任いたしました。前任地が成田空港であったことから、会社の国際線急拡大の状況を踏まえて、海外での勤務は想定していたものの、中国かアジアかと勝手に思い込んでいました。パリという内示を受け、そこに事業所がないにも関わらず、イギリスの「バリ」の間違いではないか、と思わず尋ねてしまったことを思い出します。

セーヌ川とエッフェル塔

在学中就職活動をしていた頃、同級生に私はこう言われたものです。「会社員には向いていない、放浪画家にでもなったほうがいい」と。残念ながら画才はなく、また自分自身10年後は会社を辞めているかもしれないなどと嘯いていた私は、それなりの組織人としていつの間か染まり、会社員生活29年目をフランスの地で過ごしております。

当地では家族の事情により初めての単身赴任となりました。初めての外地、そして単身赴任への適応は、学生時代の2年間の貸間（いまは死語？）での自炊生活や大学3年、4年の時の延べ70日間の外国一人旅における経験が助けてくれています。また、ネット環境の普及は、様々な情報収集の観点で私を助けてくれる一方で、翻訳ソフトの発達は、私のフランス語習熟を大いに妨げてくれています。

2015年1月にシャルリー・エブド襲撃事件が発生し、その直後4月に赴任、その年の秋にパリ同時多発テロ事件が発生しました。以降、多くの人が集まるところにはできるだけ外出せず（いまだにサッカーの試合は観戦していません。）、街の様子には注意を払ってはいますが、万が一、テロに遭遇したら、それは運が悪かったと思うしかなく、むしろテロよりもスリに注意すべしと。一方、テロの標的となり得る空港が勤務場所であることから、テロ発生直後における警察による複数回の渡航書類の確認、欧州域内の乗り継ぎ旅客の入国禁止措置やその後の武器を携帯した軍隊による頻繁な巡回などの諸対応を目にし、陸続きのセキュリティ確保の難しさや政府による個人情報の管理強化などに接しました。また、一企業としてお客様への不安感を和らげることを目的とした自主的な警備員の配備を行ったことが思い出されます。

パリのテロの後、ブリュッセルで発生したテロの際の新聞のイラスト。兄貴分のフランスが弟分のベルギーを慰めている様子を描いている。

さて、フランスは年間一億人が訪れる旅行者の憧れの国であり、

黄色いベスト運動の様子。凱旋門の向こうのシャンゼリゼ通りから立ち上る煙。

ある種パリには付加価値がついています。昨今の「黄色いベスト運動」に始まり、都心のパン屋のガス爆発事故に至るまで日本では大きく報道されることになり、日本在住者からご心配いただくことが多く、ありがたい限りです。ただ私としては、何らの憧れもなく社命に基づいて赴任しているだけに過ぎず、とかく羨ましがれることに対し、ともすると戸惑うこともあります。とある本邦企業の役員の方から、こんなお話を伺いました。「日本に帰ったらパリ、ニューヨークの話をすると妬まれて出世ができなくなる」と。その方はニューヨークとパリへの赴任経験があったそうですが、しっかりとご出世されているのは、嫉妬を超える実力を有されていたのでしょう。ご本人は、社長になれたはずなのにといった気持ちがおありだったのかもしれません。

シャルル・ド・ゴール空港近くの菜の花畑と飛行機

一方で、フランス人から見た日本はどうかと言えば、フランス人は欧州の他国と比べて、とりわけ親日的な傾向があります。また、フランス人から日本社会がよく「オーガナイズ」されていると実際に聞くことがあります。そういった日本を尊重してくれる環境において、日本の企業の求めるレベルを理解し、実践する上で大いに助かっている面はあろうかと実感しています。

日本にいた時には、「グローバル」「欧州」「欧米」という言葉を安易に使っていたのではないかとつくづく思います。こういった枕詞を使うことにより、生活や業務のあり方を変えやすくなるのではないかという思い込みがあったのかもしれません。外来からのものをよく取り入れて上手く加工してきた島国日本の得意とするところかと思われます。フランスの実情を知り、欧州他国の勤務者との情報交換をするにつれ、事情も違うことがわかりました。「欧州では」という言葉を使っていた自分を恥じ入るばかりです。そして「グローバル」と何か？ということをよく考えるようにもなりました。

こちらには、24時間開いているコンビニはありません。赴任当時は日曜日は多くの商店は閉まっていました。マクロン大統領が前政権の経済産業大臣時代に発効された規制緩和策マクロン法により、日曜日営業は緩和されたものの、日本と比べたら、その便利さとは比較になりません。実際に生活する上では、現地の環境や文化的な背景を理解し、対応するしかありません。まずは「ローカル」を理解せざるを得ないのです。「日本ではこうなっている。アメリカではこうだ」と叫んでみてもどうにもならないのです。仕事においても、同様です。まずは現状がどうなっているのかを把握することから始めるしかありません。自社員のみならず、関係先の仕事に対する考え方、習慣など理解し、相互のコミュニケーションを高めながら、変えられるところから変えていく。法的な制約を踏まえつつ、丁寧なプロセスを経ていくしかないと、今改めて痛感している昨今です。

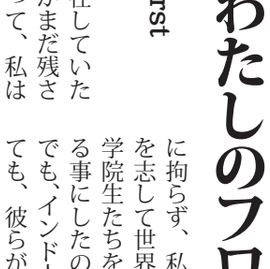
考えてみれば、このようなことは日本での赴任地でも多少なりとも経験していたと最近感じています。地方都市で働いていた時は、東京などの従業員が多い職場と比べて変化に慣れていない環境にもあり、同じようなことをしていると風当たりが強かったことを思い出します。「グローバル」になり得る水準があるとするならば、「ローカル」との差異をどう埋めていくのか、それが現下の仕事なのだろうと理解しています。

◆

最後に、フランスにお越しの際のアドバイスを少し。カフェでも売店でも店員と目が合ったら、すかさず「ボンジュール」、そして感謝の「メルシー」。挨拶をしないとサービスレベルが下がります。挨拶を欠かさなければ、人間関係を重視するフランスにおいて、よりよい時間を過ごせること間違いありません。

末筆ながら、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

札幌、東京、そしてアマーストへ（後編）
～わたしのフロンティアスピリット～



マサチューセッツ大学
アマースト校経済学部教授
吉原 直毅
（H2・経卒）

1 UMass Amherst 研究教員へ

日本にはもともと存在していたマルクス経済学の土壌がまだ残されているという事もあって、私は出来れば、自分の研究の知的後継世代を日本人の中から育成するという事を、日本の一橋大学で、その責務を果たしたいと思ってきました。しかし一橋大学で優秀な次世代の人材を育成できる可能性は次第に小さくなってきていたし、大学自体も、私の厚生経済学やゲーム理論での研究業績は評価するけれど、数理的マルクス経済学での研究業績は無視ないしは軽視する傾向がありました。

そういう落胆する思いをしていた時期に、UMass Amherstを訪問滞在したら拙記事「前編」で述べた様な魅力的な雰囲気を経験し、また、ちょうど経済理論の研究教員の公募が始まったのです。自分を試す意味で応募してみる事にしました。日本人の研究後継者を育てるという拘りをとりあえず脇に置いて、日本人であるか否かに拘らず、私の研究分野での研究を志して世界中からやってくる大学院生たちを育てる、と考えてみる事にしたのです。それが中国人でも、インド人でも、韓国人でも、彼らが我々の知的遺産を継承して世界水準で活躍してくれれば、日本人の中からもその分野に憧れて、米国まで留学してきてくれるかもしれないですし・・。

結果的に、世界中から600名を超える応募者があったそうですが、私は書類審査をパスし、15年1月のアメリカ経済学会年次大会開催中に行われるジョブ・インタビューへの招待者25名の1人として残りました。更に、最終候補者としてジョブ・セミナーに招聘される6名ほどの1人にも残りました。その結果、15年2月半ば頃に、UMass Amherstに2泊3日の予定で招聘されました。そこでは、経済学部の様々な教員たちと1人1時間ほどの面談や食事をし、また、大学院生自治会のメンバーたちとも夕食を共にし、そのようにして皆からの査定を受けながら、最後にジョブ・セミナーを行い、そしてトンボ返りで帰国するという、非常に密度が濃くてタフな米国式のジョブ・セミナーを初体験する事になりました。

セミナーでの研究報告自体は、長年の国際学会での研究報告の経験の蓄積もあるので、あまり心配していませんでした。しかし、各教員や大学院生たちとの2日間に亘っての1時間ずつの面談や食事会の連続というイベントは得体が知れず、かつ、研究以外の話題での英会話が延々と続く状態に、頭の体力が限界に達しないかも心配でした。英米の大学では、アジア系のジョブ・セミナー被招聘者に対して、意図的に早口の英語での質問や会話を仕掛け、そこで戸惑った様子をするや否や、後でその候補者を「英語が出来ない」という理由で落とそうとする人もいる。そういう忠告を、ロンドン大学に所属する私の共同研究者から受けていて、緊張もしていたのです。しかし、ここの大学では一切、そういうハラスメントな扱いを受ける事はなく、また、会話が繋がらなくて気まずい沈黙の時間が流れるという様な事もなく、いずれの面談も無難に過ごす事が出来ました。更に、面談した教員の多くや大学院自治会のメンバーたちからも、最後に「貴方を支持します」と言葉をかけて戴きました。結果として、ジョブ・セミナーに呼ばれた最終候補者の中で私が第1候補者にランク付けされ、オファーを戴く事になったという訳です。

2 テニュア（終身雇用権）取得と教授昇進

UMass Amherstに赴任した当初のポジションは、3年契約のテニュア・トラック准教授というものでした。しかし、雇用契約を締結した直後から、「テニュア審査を始めるから」という話になり、審査用の書類の提出等を色々と求められました。米国大学でのテニュア審査は通常、助教のポジションで新規採用された教員が6年程経った時点での研究業績を対象に為されるものです。研究者としてのキャリアは20年になろうという私の場合、研究業績的にテニュア審査をパスする水準に達している事は確信できましたし、さもなくばUMassも、わざわざ日本の大学での勤務実績しかない中堅世代の研究者にオファーを出したりしないでしょう。

それゆえ審査と言っても、ごく形式的な儀式に過ぎないだろうと思っていたのですが、案に反して、審査は通常通りに極めて厳格に行われました。特に私の場合、これまで米国大学での勤務実績のない中堅年代であることに対して、大学本部に懸念があったのか、外部審査員を12名も招聘する事を経済学部に求めてきました。招聘された外部審査員が書いた審査レポートを直接読むことは出来ませんが、審査員のリストは私も知る事が出来ましたし、外部審査員全員の審査レポートのサマリーについては、大学の7段階のヒエラルキー構造から成る各段階の審査委員会の報告レポートより、伺い知る事が出来ました。

私の外部審査委員たちは社会的選択理論、ゲーム理論、メカニズム・デザイン論、数理的マルクス経済学などの各分野における世界の第1人者的研究者たちでした。彼らは共通して、多面的な研究領域でのミクロ経済理論的解析を行う研究者として私の事を非常に高く評価してくれていましたし、米国に移籍してからの更なる伸びしろについても期待してくれていました。これは大きな自信になりましたし、大学の各審査委員会の報告レポートも、この外部審査員たちの評価をベースにして、私の研究業績については最高に評価したものばかりでした。

マサチューセッツ大学アマースト校

他方、審査委員会の中で比較的に厳しい評価の論調だったのは教育実績に関する事。これは、私の日本の大学での教育実績が低く評価されたという事ではなくて、米国での教育実績がない事から、最高級の評価はできないというニュアンスのものでした。それでも、最低の評価にはならなかったのは、客員研究員としての滞在時に行ったボランティアの講義シリーズに出席していた大学院生たちが私の教育者としての実力を高く評価するサポートレターを投稿してくれたからでした。

ともあれ、16年の10月に私へのテニュアの授与が正式に決まりました。赴任早々にテニュア審査を行うという事は、契約締結時の学部長のレターにも明記されていましたので、テニュア授与が大学総長レベルで確定して、わが経済学部長も安心したと思います。

一方私は、直ちに教授への昇進を考えてくれと、学部長に交渉しました。一橋ではすでに6年前に教授昇進していますから、そこからの引き抜きである以上、UMass Amherstも本来は、教授採用のオファーをすべきものですが、しかし大学の規定として、最初から教授としての採用は出来ない、との説明を受けていました。その代わり、赴任して2～3年程の勤務の後に、教授昇進の手続きをしましょうというお話だったので、私も納得して、准教授ポジションでのオファーを受けたのでした。私からすれば、テニュアの取得は既定路線という感覚でいましたが、教授に昇進させてくれるかどうかは、今後もここに留まるか否かの重要なポイントだったのです。

学部長は直ちにカレッジ長にこの件を相談してくれ、カレッジ長も私の昇進審査を行う事に関して同意し、しかし審査の開始は17年の春学期終了後にしましょうという結論になりました。しかしこの半年間の猶予期間が、大変な事態を起こす事になったのです。

というのは、この16年の秋学期から私のUMass Amherstでの学部講義活動が本格的にスタートし、学期末には履修学部生たちの講義評価が実施される事になったのです。そのアンケート集計結果

マサチューセッツ大学アマースト校

がその後の17年春学期中に明らかになったのですが、その学生評価点がカレッジの平均点や経済学部の平均点と比較して著しく低かった訳ですね。その結果を学部長が深刻視し、この春学期終了後に開始しようと約束していた教授昇進審査を1年間遅らせたらいかが か、と言ってきたのです。学部長に言わせれば、現時点での本学での私の教育実績はこの16年秋学期の学部向けゲーム理論講義しかなく、その実績評価には履修学生評価アンケートの結果が参照される制度になっているから、昇進審査の際の教育実績評価は著しく低いものとなる。その点を理由にして、学部より上の段階の審査委員会で落とされるかもしれない、との事でした。それよりも、もう少し待って、私の講義の学生評価が改善された時点で昇進審査を開始する方が安全ではないだろうか、と。

　私はその話に激怒しました。私からすれば、人生最初の機会であった先学期講義の学生評価が低くても、それは当然あり得る事でしたし、間違いなく評価が低いだろう事も予想していました。それを論拠にして昇進審査を延期させられるのは納得がいかない話でしたし、また制度的にも、テニュア審査の時は研究、教育、サービス—学内の各種委員会等の仕事や学会誌の編集、匿名審査員としての仕事などの3項目に関して評価され、2項目に関して最高点の「エクセレント」、そして残りの1項目に関して次点の「ストロング」以上の評価を獲得する事が、テニュア取得の必要条件でした。他方、教授昇進の際には、主な審査基準は研究業績であり、研究分野の学界において国際的にも重要な研究成果を出している研究者として認知されているか否かが、問われるという話でした。その点に関してまだ不十分であると判断されての審査延期ならばともかく、最初の学部講義の評価が低かったという理由だけでそういう話になるのは、約束が違う、と。

　こういう形で、自分の経験不足で不得手な学部講義での学生評価点が平均未満であることを理由に昇進が先送りされる年月が続くようであれば、今後、学部生たちの講義評価に振り回され、それへの対応に時間を費やす日々が続くことになる。他方で、私が当初から希望していた数理的マルクス経済学の大学院レベルでの講義の機会は、一向に廻ってくる気配がなく、このままでは学部ミクロと学部ゲーム理論の担当教師として使い廻されるだけになる。このような取り扱いにも、不満を募らせていた私は、「こういう扱いが続くようならば、日本に帰る」と、学部長にも、また、私の採用時の人事委員であった経済理論系の同僚たちに相談した際にも、はっきりと言いました。私は米国に来るときに、前任校の一橋大学を正式に退職していましたから、日本に帰っても戻れる職場が保証されている訳では全くありませんでしたが、「これでは何のためにここに来たのか?意味がない!」と、何人かの同僚にはっきりと不満を述べました。

　そのお陰か、次の面談の際に学部長は、教授昇進審査を私が希望する以上、大学としてはそれを止めさせる権限はない、と言ってきました。また、米国での教育実績不足を批判された場合の対応として、私が現在、米国大学の仕組みに適応し、教育実績に関しても改善する為の努力を精力的に行っている事、その旨を自己申告書に明記するべし、とのアドバイスをしてくれました。経済学部としては私の教授昇進に反対する教員は1人も居らず、皆支持するだろうが、カレッジ長や大学プロボスト段階の審査委員会での対策をしておく必要があるという事でした。

　その対策として示唆されたのが、私が米国大学の新しい教育環境に適応するべく、真摯な努力を行っている旨を示す事。その事実に依拠する形で、審査報告書でも、将来的な学生講義評価点の改善が期待できると説明できるのだと。そのアドバイスに従って、それからの1年間、私はいわゆるファカルティー・デベロップメント（FD）のワークショップに出席して話を聞いたり、他の若手教員たちとの議論の場に参加したり、あるいはFDのスタッフに勧められて、資源経済学部の提供する統計学入門の講義を聴講させてもらったりという活動に、定期的に時間を割く事になりました。

　ちなみに、FDワークショップでその導入を強く勧められたのが、いわゆるアクティブ・ラーニング・メソッド（AL）でした。要するに、学生による発言と自由討論を中心とする教育方法です。この方法は、討論それ自体が重要な教育目的になる人文系の科目や、社会科学系でも数理的・数量的ではない性質の科目であれば、確かに有効であろう事は理解できましたが、私が主に担当するゲーム理論のような極めて数理色の強い・事実上の応用数学の講義ですら、ALを導入せよ、それをする工夫の余地があるというワークショップでの議論の誘導の仕方には、納得がいきませんでした。少なくとも数学力に関しては、伝統的講義方法で教育を受けてきた日本の経済学部生と数学系ですらALで教育を受けてきた米国の経済学メジャーの学部学生と比較して、明らかに前者の力量が高いと思われたからでした。私はワークショップの場でも、納得できないと率直にその旨を発言しました。彼らはそれでも、ALの方が良いのだ、確実な成果が上がるのだという見解を繰り返しましたが、最終的には、まあ今後も議論を続けましょう、みたいな形で幕を閉じました。

　一方、幸いにして、2017年の春学期の学部向け上級ミクロ経済学講義や同年秋学期の再びの学部向けゲーム理論講義では、学生評価も順調に改善していき、いわゆる最低限の合格点ラインも超えていました。これでもう文句を言われる筋合いはなくなった、やはり昇進審査を1年間遅らせるなどという様な選択を取らずに良かった、と思いましたね。

　他方、これまた幸運なタイミングか、研究の方もちょうどその時期にこれまで改訂・再投稿を繰り返していた研究論文を含め、次々と新たな論文の審査制学術誌への掲載が決定されました。それらはいわゆるフィールド・トップ・ジャーナルを含め、いずれも学界での評価の高い著名ジャーナルでの掲載決定でした。私の教授昇進審査では再び9名の外部審査員が招聘され、その中の半数くらいはテニュア審査時の外部審査員でした。彼らは、テニュア審査時の15年夏の時点に比して2年後の17年夏の時点で10本近い審査制学術誌掲載論文が新たに加わった事に注目し、これは世界のどの大学の審査基準に照らしても、著しい成果であると評価してくれました。

　先にも書いたように、教授昇進のポイントは研究業績に関する評価であり、また、私の弱点と見做された教育業績に関しても、最初の学期を除いて合格ラインを超える学生評価を得続けていましたので、もう誰にも文句を言われる筋合いはないと確信できるようになりました。事実、学部の昇進審査委員会のみならず、その上のクラスのいずれの段階での昇進委員会でも、スムーズに私の教授昇進を推挙するという審査結果が続き、最終的に18年6月初旬に、翌9月からの私の教授昇進が正式に決定しました。

3 さらなる挑戦

　かくして18年9月から私は教授職でUMass Amherstでの3年目を迎えました。上述したように、日本ではすでに9年前に教授昇進しておりましたので、私としてはこれでやっとスタート地点に立てた感じでした。また、これでもう昇進審査の時の事を考慮して周りの評価を必要以上に気にする束縛から解放され、伸び伸びと研究に集中できる環境が整った、と思いました。私は日本の大学に勤務していた時、テニュアや昇進などの地位確保の為に研究に精を出すという生き方はしてきませんでしたし、そのような「飴と鞭」的なインセンティブを強制されずとも、求められる水準の研究成果を出し続ける事に誇りをもって生きていました。そういう自分にとって、米国大学での安定的地位確保の為の厳しい審査の仕組みは、自由で創造的な研究活動にとっての桎梏に過ぎません。その桎梏から解き放たれた精神的開放感は大きいものでした。

　現在、私には主に指導対象としている大学院生が3人ほど居ます。いずれも東アジア系の院生で、数学力も高く、数理的マルクス経済学的な研究に関心を以って、私が開講するインディペンデント・スタディ—日本の大学で言う大学院ゼミ—に出席し、実力を高めてきました。それぞれの習熟度に応じて、彼ら1人1人と徐々に共同研究を始めてきましたが、彼らとの文献の輪読会や共同研究の打ち合わせは、私にとっても非常に刺激になり、勉強になる重要な時間です。今いる大学院生たちのような優秀な学生が今後もコンスタントに私の研究室に来てくれるか否かが、今後の課題でしょうが、今のところ、彼らと一緒に勉強し研究活動をしながら、彼らを次世代研究者として育成していく日々に、私は充足感を感じています。望むらくは、日本から志ある優秀な大学院生たちがこの大学に留学してきて、私の研究室に来てくれると嬉しいですね。そうなれるように、私自身もまだまだ研究者として成長していきたいと思っています。

Chemistry with a heart
TOKUYAMA

トクヤマは、2015年に国連が発表した「持続可能な開発目標（SDGs）」に、「化学の力」で取り組んでいます。創業以来100年、蓄積してきた独自の技術を、ICT、環境、ヘルスケアといった分野へ積極的に導入し、これからも実りある貢献をつづける企業として努力を重ねていく決意です。「化学の力を、社会へ、人びとの暮らしへ」という最大の使命を見つめて。

www.tokuyama.co.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

株式会社トクヤマ
〒101-8618 東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原
TEL.03-5207-2520 / FAX.03-5207-2575

㈱ブライダルは北海道大学同窓会の
皆様の「結婚」を応援します。

41年の実績

㈱ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この会報誌「FRONTIER」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様は特典付（登録料100%OFF）にてご入会いただけます。

北海道大コース
登録料 100% OFF
ブライダルコース ¥226,800▶¥194,400etc.※
エクセレントコース ¥388,800▶¥356,400etc.※
※価格は会員サポート費・月会費（12回分）の税込総額です。

1978年創業 株式会社ブライダル
Network 東京・湘南・豊橋・名古屋
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
お問い合わせ（月曜定休） 0120-415-412 ホームページhttp://www.bridal-vip.co.jp

Concert
演奏会のお知らせ

エルムの鐘交響楽団 第38回演奏会

【日　時】2019年9月1日（日）
14:00開演（13:00開場）
【場　所】なかのZERO　大ホール
※JRまたは東京メトロ東西線「中野」駅南口から徒歩8分。
【入場料】1,000円（全席自由）
※当日券あり
【問い合わせ先】
エルムの鐘交響楽団事務局
boeso.info@gmail.com（高橋）

エルムの鐘交響楽団について

1994年、北海道大学交響楽団OB有志が発起人となって活動を開始したアマチュアオーケストラ（アマオケ）で、団の名称（エルムの鐘）も、その昔、北大構内のエルム（ハルニレ）の木に吊るされていた「時を告げる鐘」に由来します。今では団員の半数以上が北大以外のメンバーとなってOB色を脱し、東京中野を拠点として活動しています。（ホームページより）

※なお、ホームページよりチラシを印刷してお持ちいただくと、何名様でも無料でご入場いただけます。
詳しくはホームページでご確認ください→http://boeso.web.fc2.com/next_concert.html

北大合唱団東京OB会 クラーククラブ 第11回演奏会

クラーククラブについて

大学時代に北海道大学合唱団（男声）に所属して、青春時代を札幌で過ごしたメンバーで、首都圏周辺に在住するOB達によって組織された男声合唱団です。平成3年に当時の若手OB有志数人が、『またハモろうか』と集まって歌い始め、平成4年6月の大田区民合唱祭で『Boys, Be Ambitious !』で有名な、かのW・S・クラーク博士の名を戴き、『クラーククラブ』として22名で東京デビューいたしました。その後、独自の演奏会やジョイントコンサートを行うなど、20歳代から80歳代のメンバーで活発な活動を続けております。（ホームページより）

【日　時】2019年9月23日（月・祝）14:00開演（13:30開場）
【場　所】大田区民ホール アプリコ大ホール ※JR蒲田駅徒歩5分
【入場料】1,000円（全席自由席）
【問い合わせ先】井上　勝（S42 工）　TEL：042-423-9735

〈講演会のお知らせ〉

「初音ミク」産みの親 クリプトン・フューチャー・メディア 伊藤博之氏 講演会

【日　　時】2019年9月20日（金）
❶16:00～17:30交流座談会　❷18:00～19:30講演会　❸19:30～21:00懇親会
【会　　場】ちよだプラットフォームスクウェア5階（東京都千代田区神田錦町3-21）
【申込方法】お申込みは専用サイトからお願いします。（参加費は有料、定員あり）
専用サイトについては、北大東京同窓会のメルマガをご確認ください。
なお、❶❷❸はそれぞれ定員に達し次第、申込終了となります。
専用サイト→
【問い合わせ先】メール：event3@hokudai-tokyo.org　TEL：03-3211-9211（北大東京同窓会事務局）

OBOG・現役学生が一体で情熱を受け継ぐ
昭和2年創立 北大ホッケー部

ホッケー部OBOG会
川村礼紀
（S62理学部地質学卒）

ホッケーとは？

学生時代の部活動の経験を問われ、「北大でホッケーをやっていました。」と答えると、アイスホッケーのことと勘違いされる方もいまだにいらっしゃいます。陸上ホッケーは、グラウンドでボールをスティックで扱い、得点を競う競技です。ボールの大きさや重さは、野球の硬式球とほぼ同じです。各チームはゴールキーパーを含めて11名ずつですが、コートはサッカーよりもやや小さい上に、パスやシュートなどボールのスピードが速く、攻守の展開が早いので、見るだけでも十分楽しめるスポーツです。

北大ホッケー部の歴史

北大陸上ホッケー部は1926年（昭和2年）に創部されました。日本にホッケーが伝えられたのが1906年（明治39年）で、第1回の日本選手権が開催されたのが1923年とのことですから、そのわずか3年後です。目新しいスポーツに挑戦しようとする大先輩のフロンティア精神があったことは想像に難くありません。かつてはマイナースポーツであったことから新入部員が確保できず、廃部に追い込まれる大学チームもある中で、北大ホッケー部は脈々とホッケーへの情熱を次世代に受け継いできました。1993年には女子部も創設され、93年の歴史と伝統を紡いできた現在では、男女合わせて50名程の大所帯となっています。試合では道内の大会はもちろんのこと、男女とも七大戦の他、インカレや大学王座決定戦などに北海道代表として毎年出場を続け、全国の強豪チームと健闘を続けています。現在北海道ホッケー協会の会長および理事長は北大OBが就任しており、名実ともに北海道のホッケー界をけん引する存在です。

北大グラウンドで定期的に実施している男子部OB戦

男子部集合写真（2019年）

変化

そんなホッケー部にも、外部環境の変化が襲ってきています。

現在ホッケーの公式戦は、ほぼ全て人工芝グラウンドで実施されています。土のグラウンドとはボールの動きやスピードが異なるため、人工芝特有のテクニックを身につけないと試合には勝てなくなりました。残念ながら北大キャンパスにはいまだに土のグラウンドしかありません。このため学生たちは、キャンパス以外に野幌にある人工芝のホッケー場でも毎週練習をしています。公立の競技場とはいえ、練習の度にコート使用料が発生します。また、野幌までの移動も時間や金銭的な負担になります。

また、一時は北海道に4チームほどあった大学のホッケー部が、諸般の事情で現在では男女とも北大のみとなってしまいました。つまり他大学のチームと対戦するには、道外まで遠征しないといけなくなったのです。このため現役メンバーは、インカレ、七大戦、全国大学王座決定戦に加えて春合宿と、年に4回ほど道外に遠征をしています。

さらに、2000年に文部科学省スポーツ振興基本計画により「指導者制度の見直し」がなされ、2012年には日本ホッケー協会が指導者をライセンス制にしました。このため、公式戦の遠征には指導者資格をもった監督の帯同が必須となりました。試合をするために、指導者資格取得、ライセンス維持、指導者の遠征費が必要になったのです。従来は熱心なOBの厚意に甘え、個人的負担により何とか試合に参加できていましたが、それにも限界が近づいていました。

北大ホッケー部 OBOG・現役チーム

女子部練習試合（野幌の人工芝グラウンド）

女子部員のスティックや防具

OBOG会の改革

このような現役の危機を救うべく、平成16―18年卒のOBを中心に有志が立ち上がり、3年前からOBOG会の改革が始まりました。これまでにホッケー部を卒業された方々はのべ600名を超えており、OBOG会は現在でも400名ほどの会員を抱えています。同会は数十年以上に亘り毎年部誌の発行やOB戦などを通して会員間の懇親を図る他に、これまでも寄付などを通して現役チームを支援してきましたが、監督への支援などはされていませんでした。北大ホッケー部では永年監督を置かず、学生が自主的に考えて行動するのが伝統だったため、OBOGの間で監督やコーチなどの職責や必要性が認識されていなかったことも一因です。

改革は、現役と現監督への聞き取りを行う現状把握から始まりました。その結果、現役部員と監督が相互に期待する内容は大まかに一致するものの、一部に違いがあったことや、男子部と女子部で事情が異なることなどが判りました。これは監督の位置付けが不明確であったことにも起因していました。このためOBOG会では2018年に臨時総会を開いて会則を変更し、監督・コーチをホッケー部の指導・助言機関として正式に定義しました。またOBOG会は部長と協議して監督を選任すること、監督に対してはルールを設けて経済的支援を行うこと、長期的な視点から指導者ライセンス保持者を今後も継続的に確保育成することなどを決めました。

並行して財務改革も進めています。OBOG有志はこれまでも毎

年寄付をしてきましたが、ＯＢＯＧ会費と現役への寄付の窓口が異なっており、寄付をする側も混乱をしていました。また、寄付金額に目標を定めて積極的な支援を依頼したりはすることもなかったので、ＯＢＯＧが増えているにもかかわらず、寄付者数も寄付金額も伸びていませんでした。そこで、ＯＢＯＧ会費と寄付の納付窓口を統一しました。また、現役に活動予算を立ててもらい、寄付金額の目標設定とその内容説明も依頼しました。さらに過去の会員の寄付実績を精査し、近年寄付のなかったＯＢＯＧを特定し、そういった方々へのアプローチも様々な形で始めました。

当然ですが、ＯＢＯＧ会員間ならびに現役とのコミュニケーションを活性化しないと、寄付も増えません。このため、情報発信のためのフェイスブックなどＳＮＳの活用、メール配信、接点を増やすためのイベント企画などを複合的に進め、危機についての関心を高めて寄付を増やす活動も実施しています。こうした活動を始めると、現役部員に対する資金管理方法を指導したり、ＯＢＯＧ会費納入の記録や名簿を整備することにもなり、様々な付随作業が発生しますが、改革有志は精力的に取り組んでおり、その輪は現在も確実に広がっています。

2016年9月全日本マスターズホッケー大会（本人）

創立１００周年へ向けて

ホッケー日本代表は２０２０年の東京オリンピックに、開催国枠ではなく自力で女子は４回連続、男子は52年ぶりの出場を果たしました。ホッケーは五輪後にはすっかり人気スポーツに変わっていることでしょう。私が個人的に交流のある他大学では、国立大学でも寄付により人工芝ホッケー場設立を成功させた事例があります。

７年後の２０２６年には、我がホッケー部も創立１００周年を迎えます。そのころには北大キャンパスのホッケー場に、美しい人工芝のホッケー場があって欲しいものです。

北大ホッケー部OBOG会 in 東京ジンパ2019

2019年5月19日の「北大東京ジンパ」に集まったOGOB会の皆さんのスナップ。世代はバラバラ?だいぶ離れている！ようでしたが、和気あいあいで楽しそうでした〜。

色鮮やかなグリーンのポロシャツ

羊肉が焼けるのを全員で見ている！（笑）

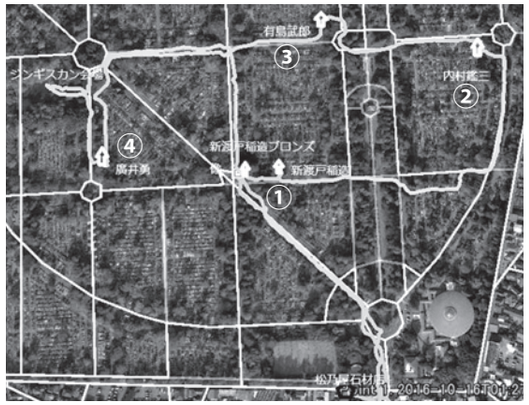
by 広報委員会

多磨霊園墓参の誘い

クラーク遺徳顕彰・墓参委員会

深まりゆく秋、くっきりと鮮明に山々を浮き立たせる青空の下、多磨霊園に眠られる母校北大の４人の大先輩の墓前にてお参りする「多磨霊園墓参」を企画しました。多くの方のご参加を期待しております。

主　　催／北海道大学東京同窓会
期　　日／10月14日（月）、10:30集合（雨天決行）
集合場所／多磨霊園正門松乃屋石材店
（正門入口向かって左手、霊園の外側です）
☎042-361-2262　　府中市紅葉丘2-31-3
墓 参 先／① 新渡戸稲造、② 内村鑑三、③ 有島武郎、④ 廣井勇　（敬称略、数字は墓参の順序です）
昼　　食／霊園の中の公園で、ジンギスカンパーティを予定しています。
費　　用／交通費、昼食代（お花は事務局で用意致します）
用 意 意／軍手、出来たら園芸用根切り、シャベル（移植ゴテ：墓地の草取り用）、ダスター



2016年にGPSで記録した墓参時の軌跡（提供:古跡さん）

○**連絡先**　平田更一（理生44年卒）　TEL：090-5199-3763　E-mail：kh4000jp@yahoo.co.jp
参加希望の方は、準備の都合上10月5日（土）までにご一報下さい。

東京基準より北海道基準、北の夢。

ぷらう

代表取締役社長　石川　裕一

株式会社 ぷらう
〒060-0063
北海道札幌市中央区南三条西４丁目 12−1　アルシュビル８階
TEL：011-219-2223　FAX：011-219-2885

北大祭2019

来場者10万人超え！さまざまな北大の魅力を発信

新緑に包まれた札幌キャンパスにて、令和へと時代が変わって最初の北大祭が開催されました。立ち並ぶ模擬店で声を枯らすまで売り込みをする学生の姿、練習を重ねてきた学生によるステージパフォーマンス。時代が変わっても北大祭における学生のエネルギッシュな空気は変わらず、多くの方々に北海道大学の魅力を感じ取っていただく機会であり続けています。

北海道大学大学祭
全学実行委員会事務局
広報担当
瀬古拓夢
（工学部3年）

北大祭の最大の見どころともいえるメインストリートを埋め尽くす模擬店はその数２００を超えます。その模擬店の多くはサークルやクラス単位で学生が出店しているもので、北大祭の中でも特に楡陵（ゆりょう）祭と呼ばれるものです。定番メニューに加え、最近流行りのタピオカドリンクやチーズハットグなどが販売されている様子も見ることができました。それぞれ趣向の凝らした料理を販売する楡陵祭の模擬店ですが、毎年人気を誇るのがそれぞれの府県出身者により構成される「県人会」による出店です。「広島県人会」による広島風お好み焼きや「山梨県人会」によるほうとうは長蛇の列ができるほどの人気となっています。

数多くある模擬店のなかから上位の出店を人気投票で決める「模擬店グランプリ」において8年連続で1位を獲得しているのが、「法学部知的財産法ゼミ」によるメンチカツの出店です。「めんちかちゅ」という名で販売されているこちらのメンチカツは、サクサク、ジューシーで美味しいと圧倒的人気を誇っています。

留学生が故郷の料理を提供するInternational Food Festival（IFF）では、およそ30の模擬店が出店され、

IFF（留学生の模擬店）

我々日本人になじみのある海外の料理やローカルフードが並びました。札幌にいながらにして世界各国の料理を味わうことができ、またそれを作る留学生たちと交流できるため、北大生のみならず地域の方々の関心を集めています。

アカデミック分野の施設紹介や体験も人気

北大祭で目を引くのはやはりたくさんの模擬店ですが、それだけではありません。北大祭は先ほど述べた楡陵祭やＩＦＦのほかに、工学祭、農学祭、理学祭、薬学祭、医学展、歯学祭、獣医学祭といった各学部・学科祭で構成されており、そこではそれぞれの学部・学科の特色を活かした催しが行われました。例えば工学祭では、ハイブリッドロケットエンジンを用いた公開燃焼実験を行い、その迫力ある実験の様子に観覧した方々は皆、息をのみました。また、創設１００周年を迎えた医学部で行われた医学展では、検査体験やハンディキャップ体験などを通して、地域の方々や子ども達に医療を身近に感じてもらうことができました。

一般の方々にとって北大祭は北海道大学が誇る研究設備やその研究内容について知ることができる貴重な機会でもあります。北大祭

期間中は特別に研究施設を公開しており、来場された方には最先端の研究を間近で体験していただけました。例えば低温科学研究所で行われる『南極（－50℃の世界）を体験しよう』という企画では、南極で採取した数万年前の氷を保管するマイナス50℃の低温室に入ることができます。研究用のマイナス50℃の低温室は日本でも数少ない設備であり、普段は立ち入ることができない施設なので、毎年人気を集めます。

こうしたアカデミックな内容の企画だけではなく、老若男女どなたでも北大祭を楽しんでいただけるよう、この他にもたくさんの催しが行われました。小さなお子様に楽しんでいただける巨大ジェンガやストラックアウトといったおもちゃを用意しているブースや、体育館を使用し、毎年長蛇の列ができる順番待ち必至の「お化け屋敷」、羊毛を使ったマスコット作りなどが体験できる「カルチャースクール」、さらには北海道大学内外のサークルや団体がパフォーマンスを披露する「サークル発表」や「Nire Rock Festival」などに多くの方々が来場され、どれも大盛況でした。

Nire Rock Festival

NHK「なつぞら」の女優・福地桃子さん

「なつぞら」の北大生・夕見子１０００人のトークショー

今年の北大祭の目玉企画の一つは、ＮＨＫ連続テレビ小説「なつぞら」に出演している女優の福地桃子さんをお招きしたトークショーです。福地さんの姿を一目見ようとおよそ１０００人の観客が集まりました。福地さんはドラマの中で１９５６年に北海道大学に進学する柴田夕見子役を演じており、いわば「後輩」となる現役の北大生のＭＣとともにトークを繰り広げました。

トークショーでは「北海道大学バンザイ魂」が夕見子の北海道大学合格をお祝いするパフォーマンスをしたほか、「北海道大学合唱団」がドラマ中にも登場する「ＦＦＪの歌」を合唱し、福地さんを歓迎しました。福地さんは撮影の裏話やトークショーの前にまわった北大祭の感想をお話しになり、会場は大いに盛り上がりました。最後に福地さんは「北海道の魅力を全国の皆さんにお届けしたいとさらに強く思った」と北海道愛を語られました。

施設公開（低温科学研究所）

よさこいチーム「縁」

また、今年は同じく札幌の初夏の風物詩である「YOSAKOIソーラン祭り」と開催期間が重なっており、それを記念して「北大祭大乱舞～YOSAKOIソーランイベント～」が行われました。イベントでは「YOSAKOIソーラン祭り」でも注目を集める「北海道大学・縁」をはじめとした複数のよさこいチームがオリジナルの演舞を披露し、会場にいる観客と演者が一体となって踊る「総踊り」も行われました。

こうして伝統的な企画である「１万人の都ぞ弥生」による「都ぞ弥生」の歌声が響き渡るなか、北大祭は閉幕いたしました。今年もまた、それぞれの学生にとって、濃密な３日間となりました。

最後になりますが、北大祭は諸先輩方の積み重ねてこられた「伝統」が受け継がれ、今年で61回目を迎えました。この「伝統」はさらに未来に受け継がれ、発展していくものであると願っております。本誌をお読みになっている卒業生の皆様も来年以降の北大祭にぜひお越しください。そして、ご自身の学生時代と照らし合わせて、北大祭の「伝統」とその発展をその目でご覧になってみてはいかがでしょうか。

2019年（令和元年）

残暑お見舞い

申し上げます。

北大東京同窓会

役員一同・事務局

会長　杉江　和男　（工・45・応化・修）

事務局　廣重　晃以　（法・55）

納谷　峻徳

（工・38・冶金）

JFEホールディングス株式会社

名誉顧問

數土　文夫

（工・39・冶金）

石山　喬

（工・42・冶金）

岡　隆次郎

（工・42・冶金）

梅原ビルディング株式会社

代表

梅原　誠一郎

（工・44・冶金・修）

北海道大学東京同窓会

北海道大学校友会エルム

会長

杉江　和男

（工・45・応化・修）

はまなす会

（北大工学部機械工学科 東京同窓会）

顧問

仲　裕

（工・47・機）

総合建設コンサルタント（国内&海外）

セントラルコンサルタント株式会社

代表取締役会長

馬場　直俊

（工・47・土木）

有限会社ケーズオフィス

代表取締役

川添　公貴

（工・56・応化）

JFEエンジニアリング株式会社

総合研究所長

櫻井　雅昭

（工・56・金属）

日本コムシス株式会社

相談役

伊東　則昭

（工・52・電子・修）

株式会社フジクラ

顧問

成瀬　秀夫

（工・52・電気）

株式会社エネット

代表取締役社長

川越　祐司

（工・57・電子・修）

味の素株式会社

代表取締役　副社長執行役員

福士　博司

（工・59・合化・修）

ワイ・エム・エス株式会社

代表取締役

島田　久

（工・61・金属）

尾瀬沼畔長蔵小屋

尾瀬ケ原第二長蔵小屋

代表取締役

平野　太郎

（工・H3・衛生）

一般財団法人 T-TAZDO　代表理事

ダクタリ動物病院　総合院長

コロラド州立獣医科大学客員教授・日本親善大使（2011-2013）

千葉科学大学客員教授

ダクタリ動物病院　東京医療センター

東京都港区白金台5-14-12F（TEL03-5420-0012）

ダクタリ動物病院　代々木

東京都渋谷区富ヶ谷1-30-22（TEL03-5452-3060）

ダクタリ動物病院　久我山

東京都杉並区久我山3-7-27（TEL03-3334-9336）

daktari

加藤　元

（獣・31）

北海道大学獣医学部同窓会

関東支部

支部長

鷲野　弘明

（獣・53・修）

北海道大学歯学部同窓会

関東支部

支部長

横田　秀一

（歯・60）

新日本相撲甚句会

理事

師範代

野呂　忠一

（薬・39）

東日本旅客鉄道株式会社

顧問

松田　昌士

（法・36・修）

行政改革推進会議歳出改革WG委員

公益財団法人交通協力会

常務理事

石堂　正信

（法・44）

北水同窓会

東京支部一同

支部長　樋口　達夫　（水・50・食品・修）

副支部長　細見　典男　（水・48・食品）

副支部長　吉田　克典　（水・H2・食品）

東京フラテ会

会長　畠山　昌則　（医・50）

社会医療法人

財団大和会

武蔵村山病院

院長　鹿取　正道　（医・H3）

北大法学部

東京同窓会 役員一同

会長 奥野 滋（法・50）
事務局長 山口 公範（法・H2）

北大経済学部

東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一（経・57）
事務局長 菅埜 誠（経・52）

公益社団法人北海道倶楽部
副理事長 兼 常務理事・事務局長
DG株式会社
代表取締役
本間 修
（法・45）

株式会社BlueMeme
常勤監査役
杉山 和彦
（法・45）

株式会社ぷらう
代表取締役
石川 裕一
（法・54）

株式会社町村農場
代表取締役
町村 均
（法・60）

JFEスチール株式会社
常務執行役員
堀江 亮介
（法・61・修）

株式会社サクセスボード
代表取締役社長
萱野 聡
（法・62）

北海道大学大学院法学研究科
研究科長・法学部長
池田 清治

北海道大学法学部同窓会
会長
佐々木 亮子
（法・47）

北海道大学法学部同窓会
副会長 兼 事務局長
髙橋 了
（法・47）

株式会社トクヤマ
代表取締役 社長執行役員
横田 浩
（経・60）

佐々木 豊実
（農・35・林学）

株式会社デイリーテクノ
代表取締役社長・農学博士
冨田 守
（農・36・畜産）

株式会社明治屋
代表取締役社長
松沢 幸一
（農・48・農化・修）

技術士
坂倉 雅夫
（農・48・農工）

一般社団法人緑の循環認証会議
専務理事
梶谷 辰哉
（農・50・林学）

中外製薬株式会社
代表取締役社長
小坂 達朗
（農・51・農化）

月島食品工業株式会社
代表取締役社長
戸田 信之
（農・51・農化）

株式会社中央コンピューターシステム
代表取締役社長
櫻田 巧
（農・58・農経）

北大スキー部OB会 東京支部 幹事
北大東京同窓会 理事
（一社）札幌農学同窓会 東京支部 理事
（公社）全日本学生スキー連盟 副会長
髙橋 寛
（農・62・農機）

三晃堂三井印店
代表
三井 晃一
（農・H1・農学）

一般社団法人 札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 梶谷 辰哉（農・50・林学）
副理事長 坂倉 雅夫（農・48・農工）
副理事長 櫻田 巧（農・58・農経）

東日本恵迪寮同窓会

役員一同

会長 坂倉 雅夫（S44入寮、農・48・農工）

【2019年 東日本恵迪寮同窓会 大寮歌祭 in 山梨】のご案内
【日時】令和元年10月5日（土）
1.開識社（講演会:無料）12:00～13:00
講師:佐藤 八雷氏（S39入寮・工・衛生工学卒）
演題:人口100億人時代の地球の水資源を憂う
2.総会及び大寮歌祭（会費:5,500円）13:10～16:00
【場所】山梨県石和温泉『かんぽの宿 石和』
（山梨県笛吹市石和町松本348-1）

新入会員

（平成31年1月～、敬称略）

宗野裕治（文H20）、加藤徹（法S59）、大野峻（法H18）、宮田靖志（工S62）、利府俊裕（工S54）、樋口雄一（教H7）、辻村祐香（医H29）、木和田広司（水H12）、清水全生（工S45）、柳隆夫（法H3）、石塚利博（工S58）、田村信彦（工S58）、谷畑敦史（経H27）、村武直樹（経H7）、川村礼紀（理S62）、濱崎敬（工H31）、横山尊一（工H31）、金曽裕一（水S40）、永井雅俊（工H16）、森川真好（法S58）、三浦淳史（工H19）、新美大伸（工H15）

訃報

平成31年1月以降にご逝去のお知らせをいただいた方々。
敬称略

西尾賢亮（文S29）、出口奎示（医S26）、古田部格一（水S30）、真田幸雄（水S25）、千田瑞四郎（法S35）、藪口郎（理S61）

名刺広告は1コマ、5千円で、皆様にご協力をいただいています。

北海道大学東京同窓会　入会申込書

ホームページからの申し込みも可能です。「北大東京同窓会」で検索してください。

【FAX】03-3211-9288

フリガナ 氏　名	
学　士	学部　　学科 卒業年　（昭和 ・ 平成）　　年卒業
修　士	（研究科 ・ 院）　　専攻 卒業年　（昭和 ・ 平成）　　年卒業
博　士	（研究科 ・ 院）　　専攻 卒業年　（昭和 ・ 平成）　　年卒業
自宅住所	〒（　　） 電話：　　FAX： E-mail：（携帯・スマホ） （PC）
勤務先 所属・役職 勤務先住所	〒（　　） 電話：　　FAX： E-mail：

【優先連絡先E-mailアドレスの指定】

・ご自宅、勤務先に E-mail アドレスをお持ちの場合、優先連絡先の方に○印をつけてください。

【優先 発送物宛先の指定】 自宅・勤務先いずれか優先する方に○印をつけてください。

【会費納入方法】

・入会申込受領後、会費案内をお届けしますので郵便振替または銀行振込みにてお支払いください。

北海道大学の近況

（2019年 冬・春）

北海道大学総務企画部広報課

総合博物館 小林快次准教授に「北海道文化奨励賞」

総合博物館の小林快次准教授が、平成30年度北海道文化奨励賞を受賞しました。この賞は、北海道の芸術、科学、教育その他の文化の向上発達に関して、その功績が顕著で今後の活躍が特に期待される個人または団体に贈られるものです。小林准教授は、我が国の恐竜研究の第一人者として、むかわ竜をはじめとする恐竜化石の研究、発掘で活躍し、恐竜化石を通じた古生物学の普及、啓発など、北海道の自然科学の発展に寄与したとして、北海道文化奨励賞が贈呈されました。

10月29日（月）、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて、北海道文化賞及び北海道文化奨励賞の贈呈式が行われ、高橋はるみ知事より賞が贈呈されました。贈呈式には、むかわ町竹中喜之町長にも同席いただき、また会場には、西井準治理事・副学長、総合博物館の大原昌宏教授と湯浅万紀子教授、むかわ町教育長やむかわ町穂別博物館館長、むかわ町民の方々にも参列いただきました。

小林准教授は受賞者挨拶で、「この賞は、私個人ではなく、『むかわ竜』に与えられた賞です。私は13年前に北海道大学に着任しました。その間、北海道大学及び北海道大学総合博物館には、全面的なサポートをもらいながら恐竜研究者として育てていただいたことに感謝いたします。また、『むかわ竜』に関わってから6年が経ちました。むかわ町の方々の力強い協力によって、『むかわ竜』はむかわ町の宝、北海道の宝、日本の宝、そして世界の宝として世の中に知れ渡るようになりました。むかわ町の方々のおかげで、北海道の恐竜文化を確立し発展させることができ、皆様には深く感謝申し上げます」と謝辞を述べました。

さらに今年9月に発生した平成30年北海道胆振東部地震にふれ、「むかわ町の復旧復興はまだまだです。今、『むかわ竜』を復興のシンボルの一つとし、町民の方々は復興に向けて一生懸命頑張っているところです。今後も、北海道大学はむかわ町に対して全面的なサポートをし、さらなる発展に向けて頑張っていきたいです」と語りました。

（総合博物館）

※準教授は当時、現在は教授

贈呈式の小林准教授（中央）、竹中むかわ町長（左）、西井理事・副学長（右）

贈呈式での受賞者の記念撮影

平成30年度「北海道科学技術賞」に本学関係者ら3氏

平成30年度北海道科学技術賞を農学研究院の川村周三特任教授、本学名誉教授の西村正治氏、水産科学研究院の安井　肇教授が受賞されました。

この賞は、科学技術上の優れた発明、研究等を行い、北海道産業の振興、道民生活の向上など経済社会の発展等に功績のあった方に、知事表彰として贈呈されるものです。

2月14日（木）にセンチュリーロイヤルホテルにおいて、贈呈式が行われました。

（総務企画部広報課）

（川村特任教授：前列左端、西村名誉教授：前列中央左、安井教授：前列右から2番目）

農学研究院　川村周三特任教授

川村特任教授は、「米の収穫後技術による北海道米の品質食味の向上」の功績により受賞されました。

同氏は、米の収穫後技術の基礎研究から実用化実証試験に及んで社会実装に尽力し、北海道米の品質食味の向上に大きく貢献しました。特に米の超低温貯蔵技術は冬の自然の寒冷空気の再生可能エネルギーを利用して米を氷点下に冷却して長期貯蔵し、高品質保持を可能にするという画期的な技術です。

北海道米は、古くは〝やっかいどう米〟とも揶揄され、「食味の悪い米」という評価が一般的でした。ところが、同氏の開発した技術の実用化により品質食味が向上し、現在では米市場及び一般消費者に北海道米の「おいしさ」が広く認知されるとともに、全国的にも北海道米のおいしさの評価は大きく向上し、北海道米は良食味ブランド米としての地位を確立しました。

（農学院・農学研究院・農学部）

西村正治名誉教授

西村名誉教授は、「慢性閉塞性肺疾患（ＣＯＰＤ）研究に関する世界的貢献と本邦における啓発活動」の功績により受賞されました。

同氏は、多数のＣＯＰＤ患者を対象に多施設共同による前向き調査を10年間にわたり実施する中で、世界で初めて肺ＣＴ検査を導入し、肺機能の経年的変化や急性増悪の頻度、予後等を明らかにしました。また、ＣＯＰＤ診断と治療に関する国際ガイドラインの作成や、呼吸領域で最も影響の大きい医学雑誌の一つ「米国胸部疾患学会雑誌」の編集に参画し、その活動に大きく貢献しました。

ＣＯＰＤは、咳・痰・労作時息切れが特徴で、主に喫煙する中高年者に発症する重大な肺疾患でありながら、その認知度の低さが適正な診断・治療の障害となっていました。同氏のこうした国内外における活動は、早期診断と正しい治療を啓発し、道民の健康寿命延伸に大きく貢献しただけでなく、Hokkaido という名称を世界のＣＯＰＤ研究者に知らしめることに繋がりました。

（医学院・医学研究院・医学部）

水産科学研究院　安井肇教授

安井教授は、「ガゴメの特性を生かした産学官連携による産業クラスターの形成」の功績により受賞されました。

同氏は、北海道津軽海峡沿岸に生育する地域固有種である褐藻コンブ科のガゴメについて生育特性や高い粘性成分に着目し、人工合成などでは代替できない、機能性を持つ粘性多糖類「フコイダン」が発生・生長過程のなかで高濃度で含有してくることを発見しました。また、ガゴメの生理・生態を明らかにし、さらに高濃度のフコイダンを含有するガゴメの栽培方法「バイオファーミング（ＢＦ）」を確立しました。その後、行政や企業等との産学官連携を推進させることで、ＢＦにより栽培された「ＢＦガゴメ」の普及促進や産業化など、地域資源の有効活用にも取り組み、北海道発や函館発のブランドとして広く知られるまでに至りました。ガゴメはその特性から食用だけではなく化粧品、化成品、医療用原材料などに幅広く活用され、その経済効果は２００億円以上の規模と試算され、北海道の産業振興に多大な貢献をしました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）

第二農場及び植物園の建築物が耐震改修優秀建築賞を受賞

本学第二農場と植物園の建築群の耐震改修事業が、一般財団法人日本建築防災協会の「平成30年度（第８回）耐震改修優秀建築・貢献者表彰」において「耐震改修優秀建築賞」を受賞しました。

同賞は、優れた耐震改修を実施した建築物と、その耐震改修に主体的に係わった関係者が表彰されるもので、建築物としては、「農

表彰状の授与

第二農場牧牛舎

受賞関係者

植物園博物館本館

学部第二農場」及び「農学部植物園・博物館」として国の重要文化財に指定されている建築群18棟が受賞しました。

また、関係者としては、本学のほか、平成25年度及び26年度に実施した文部科学省国立大学法人施設整備補助事業による耐震改修の際、設計を担当した公益財団法人文化財建造物保存技術協会、有限会社金箱構造設計事務所及び株式会社日建設計と、施工を担当した清水・高橋組特定建設工事共同企業体が受賞しました。

今回の受賞にあたっては、本学が、かねてからキャンパスマスタープランに基づいて歴史的建造物の中長期的維持管理体制の整備に取り組んでおり、継続的に、建築専門家だけでなく植物生態系管理、埋蔵文化財管理、史学を含めた多角的視点から活用を検討してきたこと等が評価されました。なお、国立大学法人の施設からの受賞は、京都大学百周年時計台記念館（平成27年度〈第5回〉受賞）に続く2例目となります。

表彰式は、2月19日（火）に霞が関ビルにある東海大学交友会館で行われました。代表として、本学総長補佐（施設・環境計画室）の小澤丈夫教授が表彰状を受け取り、受賞者によるプレゼンテーションも行いました。

小澤総長補佐による
プレゼンテーション

（サステイナブルキャンパスマネジメント本部）

平成30年度学士学位記授与式

平成30年度学士学位記授与式

平成30年度学士学位記授与式を3月25日（月）に、本学第一体育館において行いました。

学位記授与式は、来賓、役員、学部長等の列席の下、北海道大学交響楽団による「エルムの鐘」の演奏の後開始され、水産学部を除く11学部及び現代日本学プログラム課程の卒業生2，282名（獣医学部共同獣医学課程のうち、帯広畜産大学が本籍の者を除く）を代表し、各学部の総代へ学部長から学士学位記が授与されました。

また、新渡戸カレッジの修了者33名を代表し、総代へ長谷川晃新渡戸カレッジ校長代理から修了証書が授与されました。

笠原正典総長職務代理（理事・副学長）は、卒業生に向けて「フロンティア精神とともに自信を持って果敢に挑戦してください。皆さんが、夢と勇気と大志を持って、新たな人生を切り拓かれることを祈念します。」との言葉を贈りました。

続けて、北海道大学校友会エルム会長・石山喬氏は祝辞の中で、「北大でまかれたBe gentlemanの種を大切にして、自分なりのGentleman像を作り上げてください」と述べられ、卒業生へのはなむけの言葉として贈られました。その後出席者全員による「都ぞ弥生」の斉唱で式は終了しました。

3月26日（火）には、フォーポイントバイシェラトン函館において水産学部卒業生194名を代表し、各学科の総代へ水産学部長から学士学位記が授与され、新渡戸カレッジの修了者には長谷川新渡戸カレッジ校長代理から修了証書が授与されました。

学位記を受ける総代

告辞を述べる笠原総長職務代理
（理事・副学長）

修了証書を受ける新渡戸カレッジ総代

祝辞を述べられる石山会長

平成30年度修士・専門職学位・博士学位記授与式

平成30年度修士・専門職学位・博士学位記授与式を、学士学位記授与式終了後に、第二体育館において行いました（水産科学院については翌日挙行）。

修士・専門職学位・博士学位記授与式では、役員、研究科等の長の列席の下、16研究科等の修士課程修了者1，494名を代表し、各研究科等の総代へ修士学位記が、また、法科大学院（法学研究科法律実務専攻）修了者39名、経済学院会計情報専攻修了者21名、及び公共政策学教育部公共政策学専攻修了者37名を代表し、各研究科等の総代へ専門職学位学位記が、各研究科等の長から授与されました。

引き続き、15研究科等の博士課程修了者292名、論文博士14名を代表し、各研究科等の総代へ、笠原正典総長職務代理（理事・副学長）から博士学位記が授与されました。

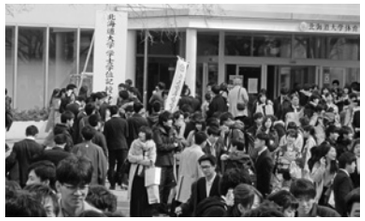
この後、総長告辞があり、最後に北海道大学交響楽団の弦楽四重奏による「都ぞ弥生」の演奏で締めくくられました。

3月26日（火）には、フォーポイントバイシェラトン函館において、水産科学院の修士課程修了者90名を代表し、各専攻の総代へ水産科学院長から修士学位記が、また、博士課程修了者7名に対し、笠原総長職務代理（理事・副学長）から博士学位記が授与されました。

学部・研究科等別の卒業者数、修了者数、及び論文博士授与者数は以下のとおりです。

（学務部学務企画課）

水産学部応援団のエール


会場の様子

学部別卒業者数一覧

〈学部名〉	〈卒業者〉
文学部	179
教育学部	62
法学部	200
経済学部	169
理学部	305
医学部	284
歯学部	48
薬学部	80
工学部	698
農学部	211
獣医学部	(80)38
水産学部	194
現代日本学プログラム課程	8
計	(2,518)2,476

括弧書きの数字は本学及び帯広畜産大学の合計数

研究科等別大学院博士課程修了者及び論文博士数一覧

〈研究科等名〉	〈課程博士〉	〈論文博士〉
文学研究科	24	3
法学研究科	2	
経済学研究科		
医学研究科	52	
歯学研究科	24	
獣医学研究科	11	1
情報科学研究科	24	
水産科学院	7	
環境科学院	12	3
理学院	30	1
農学院	22	2
生命科学院	19	1
教育学院	5	
国際広報メディア・観光学院	5	
保健科学院	2	
工学院	28	2
総合化学院	32	1
計	299	14

研究科等別大学院修士課程・専門職学位課程修了者数一覧

〈研究科等名〉	〈修了者〉
文学研究科	71
法学研究科	20
情報科学研究科	184
水産科学院	90
環境科学院	132
理学院	107
農学院	151
生命科学院	111
教育学院	47
国際広報メディア・観光学院	37
保健科学院	48
工学院	(376)365
総合化学院	138
経済学院・経済学研究科	29
医学院・医学研究科	24
医理工学院	14
国際食資源学院	16
計	(1,595)1,584

〈研究科・教育部・専攻名〉	〈修了者〉
法学大学院（法学研究科法律実務専攻）	39
経済学院会計情報専攻	21
公共政策学教育部公共政策学専攻	37
計	97

括弧書きの数字は本学及び帯広畜産大学の合計数

平成31年度入学式

平成31年度の入学式を、4月4日（木）に札幌コンベンションセンターにおいて執り行いました。式は、来賓の校友会エルム会長石山喬氏、大韓民国、ロシア連邦、中華人民共和国及びオーストラリア連邦領事館からの代表者並びに役員、及び部局長の列席の下、北海道大学交響楽団による「エルム

総代による入学者宣誓

告辞を述べる笠原総長職務代理

の鐘」の演奏により開始され、笠原正典総長職務代理（理事・副学長）から新入生に対し告辞が述べられました。

はじめに、笠原正典総長職務代理（理事・副学長）は告辞の中で、本学の概要について歴史的経緯を含めて紹介し、是非、本学の雄大なスケールを味わってほしいと述べました。

続いて、私たちは少子高齢化、環境汚染など数多くの世界的な問題を抱え、特に少子高齢化は、我が国が初めて経験する世界的にも類を見ないもので、過去の例や外国での例を参考にすることはできないことから、新しい状況を自ら正確に把握し、正しい理解に基づき「自分の頭で考える」ことが大切であり、大学生活の学びの中で、ぜひ「自ら考える」能力と習慣を身に付けてくださいと述べました。

さらに、そのためには基礎となる幅広い知識を獲得し、自由自在に取り扱えるようになる必要があるため、最初の1年間、高等教育推進機構・総合教育部に籍を置き、様々な学問分野の基礎を学び、自らの関心を広げ、個々に修学のスタイルを作っていくことになること。

そして、幅広い領域の知識と教養を培ってこそ、各学部の専門課程における学びも実を深めていくことが可能となることから、総合教育での勉学に励み、「自ら学び、自ら考える」という姿勢を体得してほしいと述べました。

そして最後に、グローバル化が急速に進む現在では、主体的に構想し、問題意識を国際社会と共有のうえ課題解決を提案していく必要があり、そのためには、英語を中心とする外国語によるコミュニケーション能力と異文化理解が欠かせないことから、「新渡戸カレッジ」への積極的な参加により、海外の異なった考え方や価値観を理解して、世界で活躍できる人材になって欲しいと、激励の言葉を述べました。

続いて、留学生35名を含む2，564名の入学者を代表して、東尚宏さんによる入学者宣誓が行われました。

野口教授から後輩へのメッセージ

長谷川副学長によるガイダンス

その後、来賓、本学理事、副学長、監事及び部局長の紹介と続き、北大交響楽団による「都ぞ弥生」の演奏で式は終了しました。

入学式終了後には、本学卒業生である、農学部副学部長の野口伸教授から「本学卒業生からのメッセージ」としてご講演いただき、引き続き、長谷川晃副学長から「北大生活を送るにあたっての心構え」についてのガイダンス、北大合唱団による「都ぞ弥生」及び「I've been working on the railroad」の合唱が行われ、全ての行事が終了しました。

（学務部学務企画課）

「広域複合災害研究センター」を設置

近年我が国では豪雨や地震が頻発しており、山崩れ、洪水氾濫、津波、地盤沈下など様々な現象が複合して、広域にわたり自然災害が発生する傾向にあります。自然災害では、人命や財産、土木施設など住民の生存基盤にとどまらず、農林畜水産業や電力・水・交通網などの産業基盤に大きな被害が生じます。北海道でも、平成28年には北海道豪雨により、また平成30年は北海道胆振東部地震により、広域複合災害が発生しました。北海道は、我が国の食料生産基地であるにもかかわらず、一極集中・過疎化という第一次産業の空洞化を示す地域で、災害に対する脆弱性は我が国の社会経済にも大きな影響を及ぼします。

このような現状を踏まえ、平成31年4月1日に学内共同研究施設である「広域複合災害研究センター（Center for Natural Hazards Research）」が設置されました。

本センターでは、災害規模・形態・被害の予測手法、それらに対する対策手法や災害復旧のシステム化にとどまらず、災害に強い地域社会のあり方や社会構造などを研究し、「広域・複合型災害減災計画・対策ガイドライン」を関係行政・研究機関，学内関係プロジェクト（ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点等）、地域社会と連携・協働しながら提案することを目指しています。

また大学院教育や定期的な研修会を通じ、広域複合災害に関する研究成果を社会人教育プログラムに反映させることで、総合的な知見を持った、防災の専門家の育成を図ります。

多極化する防災・減災研究の一元化を目指す本センターは、北海道だけではなく国内外においても災害研究の先導的モデルとなることが大いに期待されます。

（広域複合災害研究センター）

「広域複合災害研究センター」開所式を挙行

本学は、効果的な減災に資する教育研究の促進や減災ガイドラインの策定、人材育成のため、平成31年4月1日付で「広域複合災害研究センター（Center for Natural Hazards Research）」（以下、ＣＮＨＲ）を設置しました。

これを受け、同4月16日（火）に、設置の背景と目的、活動計画の概要などについて広く情報提供を行うため、工学部フロンティア応用科学研究棟レクチャーホール（鈴木章ホール）において開所式を挙行しました。開所式には、行政機関や民間コンサルタントの防災に関わる技術者や大学関係者、報道関係者など北海道内外から約１５０人の参加者がありました。

笠原総長職務代理による開式挨拶

感謝状の贈呈を受ける南理事長（左）

感謝状の贈呈を受ける
小川代表取締役社長（左）

ＣＮＨＲは、学内共同施設（研究施設）として位置付けられ、基本的には寄附金により運営されます。そこで、開所式冒頭では笠原正典総長職務代理の開式挨拶に引き続き、寄附のあった団体を代表して、一般財団法人砂防・地すべり技術センターとアジア航測株式会社に感謝状が贈呈されました。

その後、来賓挨拶に続き、山田孝センター長からＣＮＨＲの研究、人材育成・アウトリーチ活動に関する紹介がありました。さらに、北海道立総合研究機構の丸谷知己理事から「近年の自然災害と北海道の脆弱性」、一般財団法人砂防・地すべり技術センターの南哲行理事長から「災害の複合化・激甚化に向けた次世代防災技術者の確保と育成」、アジア航測株式会社の小川紀一朗代表取締役社長から「航空測量・建設コンサルタント業界から大学に期待すること」と題して、それぞれ特別講演がありました。また、ＣＮＨＲは異分野融合を柱として災害研究を行い、農、工、理、文、経済及び公共政策などの多面的なアプローチを特徴として、その成果を大学院レベルでの教育に活かす人材育成機能も持たせます。そのため、25人の学内教員が参画しており（平成31年4月末時点）、開所式後半には出席したＣＮＨＲ参画教員全員から研究紹介がありました。

山田センター長による
CNHR紹介

丸谷理事による
特別講演

笠井副センター長による
閉式挨拶

最後に、笠井美青副センター長からＣＮＨＲ設置に尽力された関係者及び開所式参加者への感謝と今後の活動に対する意気込みが閉式挨拶として述べられました。

今後は、広域複合災害研究の促進、道内で自然災害が発生した際に編成される広域複合災害アドバイザーチームの活動のための体制づくりや、学外教員の招聘、学外研究員の受け入れ、減災ガイドライン策定、及び人材育成のためのアウトリーチ活動の拡充が予定されています。

（広域複合災害研究センター）

JR東日本グループ

未来のキップを、
すべてのひとに。
TICKET
TO
TOMORROW

イベント・同窓会のお知らせ

東日本恵迪寮同窓会 大寮歌祭 in 山梨

日時：令和元年10月5日(土)　1. 開識社(講演会:無料)12時～13時　2. 総会及び大寮歌祭13時10分～16時
会場：山梨県石和温泉「かんぽの宿 石和」（山梨県笛吹市石和町松本348-1）
参加費：総会及び大寮歌祭5,500円

北大経済学部東京同窓会

日時：令和元年10月11日(金)18時30分
会場：「こけし屋」杉並区西荻南3-14-6　03-3334-5111
参加費：5,000円(平成21～31年の卒業生3,000円)
申込み：9月30日(月)までに卒年氏名を下記宛に送信ください。宛先：iijuft@frontier.hokudai.ac.jp

第18回北大寮歌祭

日時：令和元年10月14日(月・祝)
12時15分～16時30分(11時15分受付)
会場：大田区産業プラザ4階　コンベンションホール
参加費：3,000円(同伴ご家族無料、お子様連れ大歓迎!)
※ホームページ　http://www.ryoukasai.org/

北大東京同窓会新年交礼会

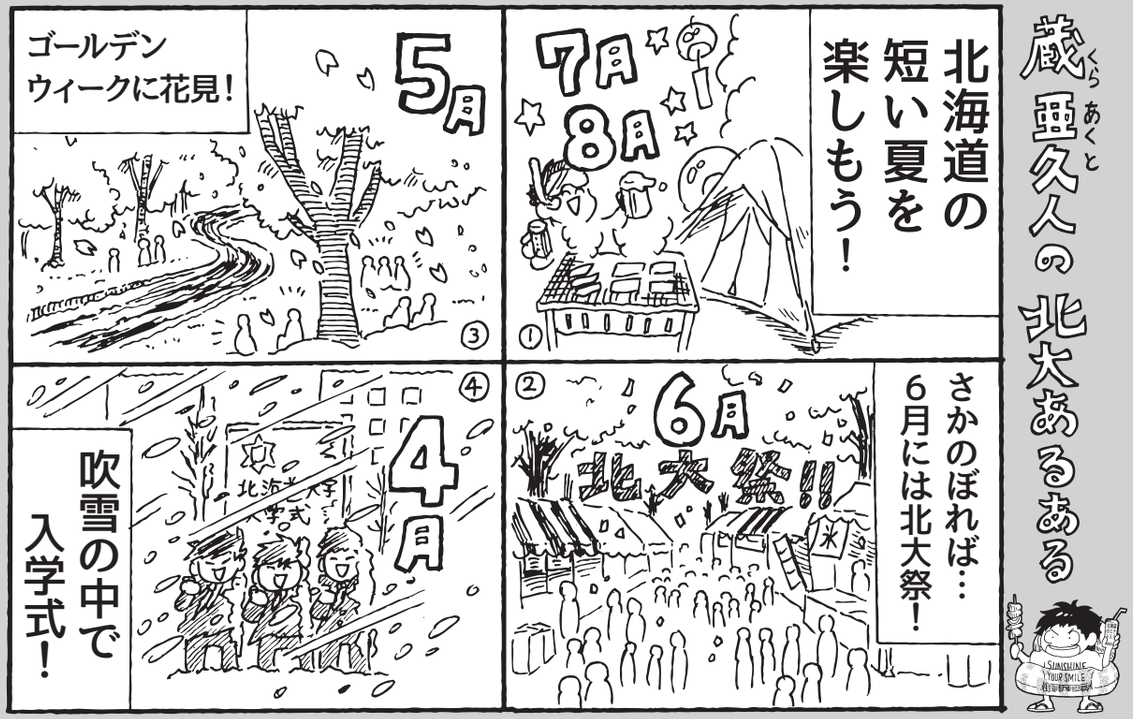
日時：令和2年1月10日(金)18時30分～21時
会場：銀座ライオンビル5階　音楽ビアプラザ ライオン 銀座店
参加費：6,000円(2010年代卒の卒業生3,000円)
当日会場にてお支払ください。

北大千葉県エルム会 総会

日時：令和2年2月1日(予定)14時開始
会場：京成ホテル ミラマーレ(予定)
参加費：10,000円(女性・若者・同伴者割引あり)
問い合わせ先：西山 090-2666-4997

「北大東京同窓会忘年会」を企画中！メルマガ等でご確認ください！

蔵亜久人(くらあくと)の北大あるある



イラストⓒ高野葵(H25環境科学院)

北海道の花

絵と文　鮫島　惇一郎

ハウチワカエデ

家ばかり並んでいる東京から札幌へ家移りしてきたのが１９３４年の春であった。札幌の街は煤煙から脱却したばかり、大変な所に来たんだという気分だったろうか。それにしても市電が走っている姿に何か安心した記憶があった。

住居は親父様の勤務先に近い苗穂駅の側に決まった。何が珍しいのか「お前たち内地から来たのか？」と子供のみならず隣近所の者たちが寄って来てあれこれいろいろなことを教えてくれた。

「あのでかいのが藻岩山よ。その右は円山だ、隣の山は三角だべ、あれが三角山だ。そこの東橋が架かっている川は豊平川よ・・・」という具合であった。まだ人口一八万チョットの山や川に囲まれた石狩平野の都会であった。こうして藻岩山との付き合いが始まるのだが、戦中、戦後を通して身近になってくるのはやはり理学部植物学科に席を置いてからのように思う。

登路はいくつも有るようだが、ロープウエーの利用を除けば、多くの人が利用するのは慈啓会コースのようだ。西国三十三ケ所を模した石の観音様が安置されているせいかもしれぬ。たまには小林峠へ下りて見ようかと歩いたことがあった。しげく人が歩かない小道はよく湿り、梢を通してこぼれる光が心地よかった。これはいけると気を良くしたが、峠を行き来する車の数に恐れ入った。峠の路は人に優しくない！来た道を帰ることにした。同じ路でありながら、見える風情は違う。

風に小さく揺れる葉っぱが目に留まった。斑に紅葉した葉っぱであった。俺を良く見てくれ！とでも言いたげな揺れ方にも見えた。ハウチワカエデであった。よくみると、中学の頃、教えられた通り、葉脈の傷の切れ目で赤と緑が入れ替っているのだった。

（昭25理・植）

編集後記

ついに１１００人を突破した。今年のジンパのことである。

でも感心したのは、その人数のことよりも、当日慌ただしくなく整然と運営されていたこと。昨年と比べて２００人以上も人数が増えたにも関わらずである。受付のＩＴ化の功績は大きいのだろうけど、新たなスタッフの充足や効率よい仕事分担なども大したもんだと思う。

30年以上前の北大生はジンパとは言わなかったはず。ずばりジンギスカンである。とはいえ、ジンパで若者が集まるならどんどん大きなイベントになってほしい。（島田久）

FRONTIER 北海道大学 東京同窓会会報
第55号　2019年（令和元年）8月20日発行

発行所：北海道大学東京同窓会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階
☎03-3211-9211 FAX03-3211-9288
Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp
HP http://www.hokudai-tokyo.org/
発行人 杉江 和男
編集人 髙橋　寛　島田　久　川添 公貴　松永 千代
髙野　葵　浦崎 稔史　山本 淳博　八谷 俊雄
青山 千穂　谷畑 敦史　中井 啓之　陣谷 義直